

プリンタードライバー 操作手順書

ECOSYS P3160dn ECOSYS P3145dn



使用条件

本書のすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。

本書に含まれる情報は、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題にも、当社は責任を負いません。

© 2021 KYOCERA Document Solutions Inc.

商標について

Microsoft®、Windows®、および Active Directory® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。

ここで使用されているその他のすべてのブランド名および製品名は、それを所有する各企業の登録商標または商標です。

目次

第 1 章 : はじめに

ドキュメント規則.....	1-2
対応オペレーティングシステム.....	1-2

第 2 章 : インストール

ドライバー.....	2-1
ドライバーのインストールを準備する.....	2-1
SNMP 設定.....	2-2
SNMP 設定を選択する.....	2-2
データ収集.....	2-3
エクスプレスインストール.....	2-3
エクスプレスインストールを使用してインストールする.....	2-3
カスタムインストール.....	2-4
カスタムインストールを使用してインストールする.....	2-5
配布用のインストールパッケージを作成する.....	2-7
ユーティリティーのみをインストールする.....	2-7
ドライバーのプロパティを編集する.....	2-8
ユーティリティーのプロパティを編集する.....	2-9
アップグレード.....	2-9
ドライバーコンポーネントをアップグレードする.....	2-9
メンテナンス.....	2-9
オプションプリンターコンポーネント.....	2-10
ドキュメント.....	2-11
アンインストール.....	2-11
ドライバーコンポーネントをアンインストールする.....	2-11
プリンタードライバーの設定について.....	2-11
デフォルトのドライバー設定を変更する.....	2-11

第 3 章 : ドライバーの概要

HTML ヘルプ.....	3-1
印刷設定で PDL を選択する.....	3-1
設定リスト.....	3-2
印刷プレビュー.....	3-2
印刷ジョブをプレビューする.....	3-2
バージョン情報ダイアログ.....	3-3
バージョン情報を表示する.....	3-3
プラグイン情報を表示する.....	3-3
使用状況の情報を提供する.....	3-3

第 4 章：デバイス設定

デバイス設定にアクセスする.....	4-1
デバイスオプション.....	4-1
使用できるオプションを設定する.....	4-1
ユーザーボックスを設定する.....	4-1
自動設定.....	4-2
自動設定を有効にする.....	4-3
メモリー.....	4-3
メモリーを設定する.....	4-3
RAM ディスク.....	4-3
RAM ディスクを設定する.....	4-4
管理者設定.....	4-4
一般.....	4-4
簡単設定タブを表示する.....	4-4
カウント情報を送信する.....	4-5
アプリケーション名を発行する.....	4-5
アプリケーション別の印刷設定を有効にする.....	4-5
パスワードで管理者設定を保護する.....	4-5
初期設定プロファイルを隠す.....	4-6
下のペインを隠す.....	4-6
SNMP 設定.....	4-6
SNMPv3 オプション.....	4-7
ジョブのメール通知.....	4-8
メール通知オプションを選択する.....	4-8
ロック設定.....	4-9
ロック設定のオプション.....	4-9
ドライバー設定をロックする.....	4-10
ユーザー管理.....	4-10
ユーザー管理のオプション.....	4-11
ユーザー管理を使用して印刷する.....	4-12
部門管理.....	4-12
部門管理オプション.....	4-13
部門コードリストを取得する.....	4-14
部門コードを追加または編集する.....	4-14
部門管理を使用して印刷する.....	4-14
Net Manager.....	4-15
Net Manager オプションを選択する.....	4-16
Net Manager を使用して印刷する.....	4-17
ユーザー設定.....	4-17
ユーザー登録.....	4-17
単位.....	4-18
PDL (ページ記述言語).....	4-18
PDL オプション.....	4-19
PDF.....	4-21
PDF オプション.....	4-22
XPS ドライバー.....	4-23
XPS オプション.....	4-24
互換性設定.....	4-25
給紙方法の設定.....	4-25
フェイスアップ出力時に逆順出力しない.....	4-25
ドライバーのソート設定を優先する.....	4-26
給紙元リストにメディアタイプも表示する.....	4-26
プラグインを削除する.....	4-26

第 5 章：簡単設定

簡単設定オプション.....	5-1
印刷の向き.....	5-2
ソート.....	5-2
両面印刷.....	5-2
ページ集約.....	5-3
エコプリント.....	5-3
簡単設定オプションの編集/追加.....	5-4
簡単設定オプションを選択する.....	5-4
プロファイル.....	5-4
プロファイルを選択する.....	5-5
プロファイルを保存する.....	5-5
初期設定プロファイルを編集する.....	5-5
プロファイルを削除する.....	5-6
プロファイルをインポートする.....	5-6
プロファイルをエクスポートする.....	5-6
アプリケーション別の印刷設定.....	5-7

第 6 章：基本設定

出力用紙サイズ.....	6-1
原稿サイズ.....	6-2
カスタム用紙サイズを作成する.....	6-2
カスタム用紙サイズを削除する.....	6-2
カスタム用紙サイズを使用して印刷する.....	6-3
使用状況でリスト.....	6-3
給紙元.....	6-3
用紙種類.....	6-3
排紙先.....	6-4
部数.....	6-4
カーボンコピー.....	6-4
カーボンコピーを印刷する.....	6-4
一括コピー.....	6-5
一括コピーで印刷する.....	6-5
ソート.....	6-6
文書をソートする.....	6-6
印刷の向き.....	6-7
両面印刷.....	6-7
両面印刷モードで印刷する.....	6-8
エコプリント.....	6-8
エコプリントを選択する.....	6-9

第 7 章：レイアウト

ページ集約.....	7-1
ページ集約印刷する.....	7-2
縮小/拡大.....	7-2
ページ内での縮小/拡大を設定する.....	7-2
とじしろ設定.....	7-2
とじしろを作成する.....	7-3
ポスター.....	7-3
ポスターを印刷する.....	7-4
製本.....	7-5

ブックレットを印刷する.....	7-6
------------------	-----

第 8 章 : 印刷品質

印刷品質とカスタム品質.....	8-1
印刷品質の選択.....	8-1
フォント詳細設定.....	8-2
フォント詳細設定オプション.....	8-3
フォント詳細設定を選択する.....	8-4
フォント代替えを設定する.....	8-4
プリンターフォントを無効にする.....	8-4
グラフィック詳細設定.....	8-4
パターンスケーリング.....	8-5
細線化.....	8-5
反転のオプション.....	8-6
イメージデータ方式.....	8-6
CIE オプション.....	8-7
半速モード.....	8-7
エコプリント.....	8-7
エコプリントを選択する.....	8-7
白黒印刷のバランス調整.....	8-8
白黒設定を調整する.....	8-8
テキストと図の効果.....	8-8

第 9 章 : 表紙/合紙

表紙付け.....	9-1
表紙付けオプション.....	9-2
表紙を印刷する.....	9-5
OHP 合紙.....	9-6
OHP フィルム間に合紙を挿入する.....	9-6
合紙.....	9-6
合紙印刷の組み合わせ.....	9-7
合紙を印刷する.....	9-8
章分けの挿入.....	9-8
章 (指定したページ) で分けて印刷する.....	9-8

第 10 章 : ジョブ保存

ジョブ拡張機能.....	10-1
ジョブ拡張機能のオプション.....	10-2
ユーザーボックス.....	10-2
ユーザーボックスにジョブを保存する.....	10-3
クイックコピー.....	10-4
クイックコピージョブを印刷する.....	10-4
試し刷り後、保留.....	10-4
試し刷り後、保留ジョブを印刷する.....	10-5
プライベートプリント.....	10-5
プライベートプリントジョブを保管する.....	10-5
ジョブ保留.....	10-6
ジョブ保留ジョブを保管する.....	10-6
ユーザー管理.....	10-7
ユーザー管理を使用して印刷する.....	10-7
部門管理.....	10-7
部門管理を使用して印刷する.....	10-7

ジョブ名.....	10-8
アプリケーション名をジョブ名に使用しない.....	10-8
上書きモード.....	10-8
ジョブ名を選択する.....	10-8

第 11 章：拡張機能

プロローグ/エピローグ.....	11-1
挿入箇所オプション.....	11-2
プロローグ/エピローグファイルの選択および割り当てをする.....	11-3
プロローグ/エピローグファイルを編集する.....	11-3
プロローグ/エピローグファイルを削除する.....	11-3
ウォーターマーク.....	11-4
ウォーターマーク文字列を追加または編集する.....	11-4
ウォーターマークイメージを追加または編集する.....	11-5
セキュリティ・ウォーターマーク.....	11-6
セキュリティ・ウォーターマークを追加または編集する.....	11-7
ステータスモニター通知.....	11-9
ステータスモニター通知を設定する.....	11-9
ステータスモニターを表示する.....	11-9
EMF スプール.....	11-10
EMF スプールを選択する.....	11-10
静音モード.....	11-11
クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする.....	11-11
クライアント・プロファイルを有効にする.....	11-11

1 はじめに

本書は、**Product Library**、プリンターのプロパティ、および印刷設定での操作方法を説明します。その中で、お使いのプリントデバイスのモデルで利用できる機能と設定についても説明します。また、プリンタードライバのインストール、操作、および更新の方法について説明します。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

本書は、システム管理者とエンドユーザーの両方を対象にし、以下の章から構成されています。

第2章 - インストール

プリンタードライバおよびユーティリティーのインストールと更新方法について説明します。

ユーティリティーのプログラムを実行するオプション、およびリリースノートや本体の『使用説明書』などのドキュメントにアクセスするオプションについても説明します。

第3章 - ドライバの概要

印刷設定ダイアログボックスの下側パネルに表示されるボタンや設定を定義します。

HTML 形式のヘルプトピックにアクセスして開く方法についても説明します。

第4章 - デバイス設定

プリンタードライバで関連機能を使用できるように、装着されているデバイスオプションの選択方法について説明します。

また、管理者、ユーザー、PDL (ページ記述言語)、および互換性の各設定方法についても説明します。

第5章 - 簡単設定

基本的な印刷設定を印刷ジョブに適用する方法について説明します。

第6章 - 基本設定

最もよく使うプリンタードライバの設定を指定する方法について説明します。

第7章 - レイアウト

元の文書に影響を与えずに、印刷されたページでの文書データの配置方法について説明します。

第8章 - 印刷品質

印刷の品質と、グレースケールの設定を管理する方法について説明します。

第 9 章 - 表紙/合紙

印刷ジョブに表紙や合紙を追加したり、OHPフィルムの間に用紙を挿入したりする方法について説明します。また、各章の 1 ページ目を用紙のおもて面に設定する方法についても説明します。

第 10 章 - ジョブ保存

プリントデバイスに搭載されたメモリーへの印刷ジョブの保存方法について説明します。

第 11 章 - 拡張機能

お使いのプリントデバイスの機能を拡張する特別な機能を紹介します。

ドキュメント規則

本書では、特定の情報についての注意を喚起するために、次のアイコンを使用しています。



この「メモ」アイコンは、知っておくと役立つ情報を示します。



この「注意」アイコンは、知っておく必要のある重要な情報を示します。これには、手順が適切に行われなかった場合のデータ消失などが含まれます。

対応オペレーティングシステム

プリンタードライバーは、次の Microsoft Windows オペレーティングシステムと互換性があります。

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7
- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008

2 インストール

プリンタードライバは、プリンターとコンピューター間の通信を管理するアプリケーションです。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

Product Library ウィンドウでは、インストール方法が2つあります。エクスプレスインストールは、ドライバとパッケージ形式にまとめた特定の機能を選択して、素早くインストールする方法です。カスタムインストールでは、任意のドライバとユーティリティを選択します。インストールが完了したら、プリンターのプロパティおよび印刷設定画面でプリンタードライバを確実に構成してください。

アップグレードでは、ドライバとユーティリティを最新のバージョンに更新できます。この機能は、アップグレードが必要な製品がある場合にだけ利用できます。クライアント/サーバー環境では、サーバーから古いドライバをアップグレードできますが、クライアントコンピューターからはできません。詳しくは、プリントデバイスの販売店にお問い合わせください。

メンテナンスでは、特定のユーティリティを実行できます。リリースノート、本体の使用説明書、その他のマニュアルにアクセスするには、**【ドキュメント】**を選択することもできます。アンインストールでは、ドライバとユーティリティを削除できます。



Windows にプリンタードライバをインストールする場合は、管理者権限を持ったユーザーでログインする必要があります。

ドライバ

Windows 7 以降および Windows Server 2008 以降の場合、認証ドライバが使用可能でシステムがウェブに接続している環境では、ドライバは **Microsoft Windows Update** からインストールできます。

ドライバの拡張機能を利用できるように、**Product Library** ディスクから、プリンタードライバを続けてインストールすることを推奨します。**Windows** で、インストール中に新しいハードウェアの検索ウィザードダイアログボックスが開いた場合は、**【キャンセル】**をクリックします。ハードウェアのインストール警告ダイアログボックスが開いたら、**【このドライバソフトウェアをインストールします】**をクリックします。

ドライバのインストールを準備する

- 1 コンピューターとプリンターの電源を入れます。
- 2 **Product Library** ディスクをディスクドライブに入れます。アプリケーションが自動的に起動します。



ディスクをディスクドライブに入れても **Product Library** が起動しない場合、**Windows Explorer** を使用して、ローカルドライブの **Setup.exe** をダブルクリックすると起動します。

- 3 使用許諾契約書を読み、同意します。
- 4 **Product Library** ウィンドウ下部にある言語リストから、表示する言語を選択します。

SNMP 設定

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) は、デバイスエージェントの管理およびネットワーク管理システムを制御する、アプリケーションレイヤーのプロトコルです。プリントデバイスなどの管理対象デバイスは、ネットワーク管理システム用の管理情報を収集して格納します。

SNMP 設定アイコンで、デバイスの検出中に使用される **SNMPv1/v2** リードコミュニティ名を指定できます。この名前は、**SNMP** 通信のパスワードのようなものです。デフォルトの名前は、**public** です。

また、利用可能なオプションを選択して、**SNMPv3** 暗号化と認証を指定することもできます。

検出中または少なくとも 1 つの検出デバイスがデバイスリストに追加されている場合、**SNMP** 設定アイコンは使用できません。



インストール中に選択された **SNMP** 設定は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般]** の **SNMP** 設定には影響しません。

SNMP 設定を選択する

- 1 **Product Library** ウィンドウで、**[エクスプレスインストール]** または **[カスタムインストール]** をクリックします。
- 2 デバイスボックスの下にある、**[SNMP 設定]** アイコンをクリックします。
- 3 **Product Library** ダイアログボックスで、次の **SNMP** 設定のいずれかを選択します。

SNMPv1/v2 を使用

リードコミュニティ名を入力します。

SNMPv3 を使用

ユーザー名とパスワードを入力します。必要に応じて、認証とプライバシーのオプションを設定します。

- 4 **[初期値に戻す]** をクリックすると、デフォルト設定に戻ります。
- 5 **[OK]** をクリックします。



異なるリードコミュニティ名を入力した場合、デバイスリストがクリアされます。**[更新]** アイコンをクリックして、デバイスを再検出します。

データ収集

プリンタードライバーのソフトウェアの品質向上に協力できます。データ収集を有効にすると、ドライバーのデータが匿名で収集されます。インストール中、またはデバイス設定および印刷設定で、ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックすると選択できます。

エクスプレスインストール

エクスプレスインストールは、Windows オペレーティングシステムで USB またはネットワーク接続されているデバイス、ドライバー、およびユーティリティーを簡単にインストールします。同時に 1 つ以上の機能をインストールできます。

インストーラーで目的のプリントデバイスが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



ステータスマニターを使用するには、.NET Framework 4.0 以降をインストールする必要があります。

エクスプレスインストールを使用してインストールする

- 1 お使いのプリントデバイスとコンピューターの電源が入っていて、USB またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。
- 2 Product Library ウィンドウで、**[エクスプレスインストール]** をクリックします。コンピューターに接続しているデバイスのリストが表示されます。
目的のデバイスが検出されたら、デバイスリストでモデルを選択します。
- 3 デバイスが検出されない場合、次のいずれかを行います。
 - USB またはネットワークケーブルを一度外してから、再挿入します。**[更新]** アイコンをクリックして、デバイスを再検出します。
 - 検索ボックスで、デバイスを検索します。デバイスモデル名、IP アドレス、ホスト名、または USB ポートを入力します。目的のデバイスが検出された場合は、それを選択します。テキストボックスをクリアする場合は **[x]** アイコンをクリックし、検出されたすべてのデバイスのリストに戻ります。
- 4 **[ポート名にホスト名を使用]** を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用できます。このオプションは USB 接続では使用できません。
- 5 インストーラーは、機能リストにあるすべての機能を自動的に選択します。各機能のチェックボックスをオンにしたりオフにしたりできます。
- 6 設定を確認し、**[インストール]** をクリックします。

- 7** データ収集ダイアログボックスが表示されます。参加のオプションを選択し、**[OK]** をクリックしてインストールを続行します。

- 8** インストールが正しく終了すると、次のオプションを選択できます。

テストページを印刷

このチェックボックスをオンにし、プリントデバイスの接続と動作をテストします。正しくインストールされている場合、コンピューター名とプリンタードライバの情報、およびポート設定が含まれた **Windows プリンターテストページ** が、新しくインストールされたプリントデバイスから印刷されます。

イベント通知を有効にする

拡張機能タブのステータスマニター通知ダイアログボックスで、イベントの通知を有効にするチェックボックスをオンにします。

簡単設定タブを表示する

簡単設定タブは、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時にすばやく呼び出して使用できるようにします。「簡単設定タブを表示する」オプションは、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般]** でも表示されます。

プラス (+) アイコンをクリックし、オプションのリストを展開します。

- 「初期画面を簡単設定タブにする」オプションを使用すると、簡単設定タブが、ドライバを開いたときに最初に表示されるタブになります。
- 「初期画面を基本設定タブにする」オプションを使用すると、基本設定タブが、ドライバを開いたときに最初に表示されるタブになります。
- 「簡単設定タブ以外を隠す」オプションを使用すると、ドライバのタブは簡単設定タブのみとなります。

- 9** **[完了]** をクリックします。必要に応じて、コンピューターを再起動します。

インストールに失敗した場合、問題を解決し、プリンタードライバのインストールを再試行します。必要に応じて、システム管理者にお問い合わせください。

カスタムインストール

カスタムインストールは、**Windows** オペレーティングシステムで、**USB**、ネットワーク接続、またはパラレル接続 (一部のモデルのみで使用可能) されているデバイス、ドライバ、およびユーティリティを任意にインストールします。インストーラーは、**USB** またはネットワークケーブルで接続され、電源の入ったデバイスを検出しますが、プリントデバイスのモデルとポート名を手動で選択することもできます。

カスタムインストールで選択した項目は、青い背景で表示されます。デバイスリストから 1 つ以上の製品をインストールできますが、必ず製品を選択し、インストールするプロダクトリストに移動する必要があります。

カスタムインストールダイアログボックスで【ユーティリティ】タブを選択することによって、プリントデバイスまたはドライバなしで、ユーティリティをインストールすることもできます。ユーティリティリストで選択したユーティリティを、インストールするプロダクトに移動します。

インストールボタンの横にある右矢印をクリックして、「インストールするプロダクト」のすべてのドライバとユーティリティのパッケージファイル(.EXE)を作成できます。アップデートする必要があるコンピューターが多数ある場合でも、各コンピューターでインストーラーを実行する必要はありません。作成したパッケージは、メールや共有ドライブ経由で配布できます。各ユーザーは、そのパッケージをコンピューターで実行し、ドライバやユーティリティを自動的にインストールできます。

インストーラーで目的のプリントデバイスが見つからない場合、システム管理者にお問い合わせください。



ステータスマニターを使用するには、.NET Framework 4.0 以降をインストールする必要があります。

カスタムインストールを使用してインストールする

- 1 お使いのプリントデバイスとコンピューターの電源が入っていて、USB またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。
- 2 Product Library ウィンドウで、【カスタムインストール】をクリックします。
プリントデバイスを検出する場合は、手順 3 に進みます。プリントデバイスのモデルやポート名を追加する場合は、手順 5 に進みます。
- 3 カスタムインストールウィンドウでは、接続されているプリントデバイスを、インストーラーが検出します。
検索ボックスで、デバイスを検索します。デバイスモデル名、IP アドレス、ホスト名、または USB ポートを入力します。
検出されたプリントデバイスは、モデル名とポート名が示されたアイコンとしてすべてデバイスリストに表示されます。プリントデバイスが検出されなければ、手順 5 に進みます。
- 4 デバイスリストで、プリントデバイスを選択して「インストールするプロダクト」リストに追加します。手順 6 に進みます。
- 5 検出でデバイスが見つからない場合、次の手順を行います。
 - 【カスタムデバイスの追加】を選択します。
 - デバイスダイアログボックスで、プリントデバイスのモデルとポート名を選択します。
 - 目的のデバイスに接続されているポートを追加する場合は、【ポートの追加】をクリックします。
 - デバイスダイアログボックスで【OK】をクリックします。デバイスは、「インストールするプロダクト」リストに表示されます。
- 6 ドライバリストでドライバを選択し、インストールするプロダクトリストに追加します。

- 7 ユーティリティータブで、ユーティリティーを選択して「インストールするプロダクト」リストに追加します。より新しいバージョンのユーティリティーがインストールされている場合、新しいバージョンがすでにインストールされていることを知らせるメッセージが表示されます。
- 8 インストールするプロダクトリストからプロダクトを削除する場合、削除するプロダクトを選択し、**【削除】**をクリックします。すべての製品を削除するには、リストボックスの下部にある**【すべて削除】**アイコンをクリックします。
- 9 **【ポート名にホスト名を使用】**を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用できます。このオプションは USB 接続では使用できません。
- 10 インストールするプロダクトリストでのデバイスとドライバーの各組み合わせに対し、**【編集】**をクリックし、ドライバーのインストールオプションを設定するダイアログボックスを開きます。必要に応じて、設定可能なオプションを変更できます。
- 11 設定を確認し、**【インストール】**をクリックします。
- 12 データ収集ダイアログボックスが表示されます。参加のオプションを選択し、**【OK】**をクリックしてインストールを続行します。
- 13 インストールが正しく終了すると、次のオプションを選択できます。

テストページを印刷

このチェックボックスをオンにし、プリントデバイスの接続と動作をテストします。正しくインストールされている場合、コンピューター名とプリンタードライバーの情報、およびポート設定が含まれた Windows プリンターテストページが、新しくインストールされたプリントデバイスから印刷されます。

イベント通知を有効にする

拡張機能タブのステータスマニター通知ダイアログボックスで、イベントの通知を有効にするチェックボックスをオンにします。

簡単設定タブを表示する

簡単設定タブは、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時にすばやく呼び出して使用できるようにします。「簡単設定タブを表示する」オプションは、**【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】**でも表示されます。

プラス (+) アイコンをクリックし、オプションのリストを展開します。

- 「初期画面を簡単設定タブにする」オプションを使用すると、簡単設定タブが、ドライバーを開いたときに最初に表示されるタブになります。
- 「初期画面を基本設定タブにする」オプションを使用すると、基本設定タブが、ドライバーを開いたときに最初に表示されるタブになります。
- 「簡単設定タブ以外を隠す」オプションを使用すると、ドライバーのタブは簡単設定タブのみとなります。

- 14 **【完了】**をクリックします。必要に応じて、コンピューターを再起動します。

インストールに失敗した場合、問題を解決し、プリンタードライバーのインストールを再試行します。必要に応じて、システム管理者にお問い合わせください。

配布用のインストールパッケージを作成する

- 1 お使いのプリントデバイスとコンピューターの電源がオンになっていて、USB、ネットワーク、またはパラレルケーブル経由で接続されていることを確認します。パラレル接続は、一部のモデルでのみ使用可能です。
- 2 **Product Library** ウィンドウで、**【カスタムインストール】**をクリックします。
- 3 デバイスリストで、プリントデバイスを選択して「インストールするプロダクト」リストに追加します。
- 4 ドライバーリストでドライバーを選択し、インストールするプロダクトリストに追加します。
- 5 ユーティリティータブで、ユーティリティーを選択して「インストールするプロダクト」リストに追加します。
- 6 インストールボタンの横にある右矢印をクリックし、**【パッケージ】**をクリックします。
- 7 **【参照】**をクリックし、パッケージをインストールするフォルダーを選択してから、パッケージ名を入力します。
- 8 次のオプションから選択します。

サイレントインストール

インストール中の進捗画面等を表示せずにインストールを行うパッケージを作成します。

エラー発生時に通知を表示

サイレントインストール中に、エラーが発生した場合に通知します。サイレントインストールが選択されている場合のみ使用できます。

- 9 **【OK】** > **【完了】** をクリックします。
- 10 ユーザーに、インストールパッケージ名と保存した場所を通知します。

ユーティリティーのみをインストールする

- 1 **Product Library** ウィンドウで、**【カスタムインストール】**をクリックします。
- 2 ユーティリティータブで、ユーティリティーを選択して「インストールするプロダクト」リストに移動します。より新しいバージョンのユーティリティーがインストールされている場合、新しいバージョンがすでにインストールされていることを知らせるメッセージが表示されます。



必須条件が満たされていない場合も、ユーティリティーの横にそれを知らせるメッセージが表示されます。

- 3 インストールするプロダクトリストから製品を削除する場合、製品を選択し、**[削除]** をクリックします。すべての製品を削除するには、リストボックスの下部にある **[すべて削除]** アイコンをクリックします。
- 4 設定を確認し、**[インストール]** をクリックします。



インストールボタンを有効にするために、ユーティリティーを少なくとも 1 つ選択する必要があります。

- 5 **[完了]** をクリックします。必要に応じて、コンピューターを再起動してください。

インストールに失敗した場合、問題を解決し、インストールを再試行します。必要に応じて、システム管理者にお問い合わせください。

ドライバーのプロパティを編集する

- 1 Product Library ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。
- 2 デバイスリストで、プリントデバイスを選択して「インストールするプロダクト」リストに移動します。
- 3 ドライバーリストでドライバーを選択し、インストールするプロダクトリストに移動します。
- 4 インストールするプロダクトリストの中の、**[編集]** をクリックします。
- 5 デバイスダイアログボックスが開き、モデル名と IP アドレスまたは USB が表示されます。ドライバーが複数ある場合、各ドライバーの設定はタブに分かれています。設定するドライバーのタブを選択します。割り当てられているすべてのドライバーについて、次のドライバー設定が表示されます。

プリンター名

デバイスのプリンター名を入力します (最大 63 文字)。

プリンターの共有

このプリントデバイスをと共有する場合にこのオプションを選択します。選択されている場合、プリントデバイスの共有名を入力できます (最大 63 文字)。

通常使うプリントシステムに設定

ほとんどまたはすべての印刷ジョブをこのプリントデバイスに送信する場合にこのオプションを選択します。

- 6 **[OK]** をクリックします。

ユーティリティーのプロパティを編集する

- 1 Product Library ウィンドウで、**【カスタムインストール】**をクリックします。
- 2 ユーティリティータブで、**【Kyocera Net Viewer】**を選択し、矢印をクリックして、インストールするプロダクトリストに移動します。
- 3 インストールするプロダクトリストの中で、Kyocera Net Viewer ユーティリティープロダクトの**【編集】**をクリックします。
- 4 ダイアログボックスが開き、ユーティリティーのオプションを表示します。任意の項目を選択します。

デバイス管理

デバイスを検出し、デバイス設定を管理します。

部門管理

デバイスグループの部門を設定し、部門設定を管理します。

ホスト管理

プリンタードライバーおよび印刷キューを管理します。

- 5 **【OK】**をクリックします。

アップグレード

インストーラーは、古いドライバーやユーティリティーのコンポーネントを検出します。ドライバーまたはユーティリティーコンポーネントを選択して、最新バージョンにアップグレードできます。アップグレードが可能な場合、**【アップグレード】**をクリックするとリストが表示されます。

クライアント/サーバー環境では、サーバーから古いドライバーをアップグレードできますが、クライアントコンピューターからはできません。詳しくは、プリントデバイスの販売店にお問い合わせください。

ドライバーコンポーネントをアップグレードする

- 1 Product Library ウィンドウで、**【アップグレード】**をクリックします。
- 2 アップグレードリストから、PC 上でアップグレードするドライバーやユーティリティーを選択します。
- 3 **【アップグレード】**をクリックします。
- 4 完了ダイアログボックスで、**【完了】**をクリックします。

メンテナンス

この機能を使用すると、次のユーティリティーにアクセスできます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部のオプションを使用できない場合があります。

オプションプリンターコンポーネント

このオプションでは、共通プロファイル、プラグインモジュール、および **Net Manager** アプリケーションを使用して、プリンタードライバの機能を拡張できます。

Quick Network Setup

最も一般的なネットワーク設定を行います。

Maintenance Menu

印刷やスキャンの位置などの機能を調整できます。

Configuration Tool

プリントデバイスのデフォルト設定を変更できます。

Wi-Fi セットアップツール

Wi-Fi の設定を行います。

オプションプリンターコンポーネント

オプションコンポーネントをインストールして、プリンタードライバの機能を拡張できます。

XPS ドライバーの場合、共通プロファイルのみインストールできます。

オプションプリンターコンポーネントをインストールする

- 1 **Product Library** ウィンドウで、次の順に進みます。
【メンテナンス】>【オプションプリンターコンポーネント】>【実行】
- 2 1 台以上のプリントデバイスを選択して、【次へ】をクリックします。どのページでも【戻る】をクリックして設定を訂正できます。
- 3 「コンポーネントの選択」ダイアログボックスで、詳細を選択するためにオプションを展開します。
- 4 各プリントデバイスのモデル以下で、あらかじめ定義された印刷設定の共通プロファイルを 1 つ以上選択できます。
- 5 1 つ以上のプラグインモジュールを選択します。

PDF 作成

さまざまなデータを、**Adobe PDF** 形式で印刷および保存できるオプションです。

セキュリティー・ウォーターマーク

ほとんど目に見えない画像やテキストを、背景に印刷します。セキュリティー・ウォーターマークは、印刷されたページがコピーされた場合にのみ表示されます。

- 6 各プリントデバイスのモデル以下で、**[Net Manager]** を選択します。
- 7 設定を確認し、**[インストール]** をクリックします。
- 8 **[完了]** をクリックします。

ドキュメント

ドライバー、ユーティリティー、およびプリントデバイス操作手順に関するドキュメントにアクセスできます。使用可能なファイルのいずれかを選択して開きます。PDF ファイルの閲覧には、**Acrobat Reader 8.0** 以降が必要です。

アンインストール

アンインストーラーは、ローカルドライブのプリントデバイスドライバーを検出します。アンインストールウィンドウでそれらのコンポーネントのリストを作成します。ドライバーをアンインストールした場合、そのドライバーを使用しているデバイスもまた削除されます。

ドライバーコンポーネントをアンインストールする

- 1 **Product Library** ウィンドウで、**[アンインストール]** をクリックします。
- 2 リストからアンインストールするコンポーネントを選択します。デバイスを選択するか、プラス (+) アイコンをクリックして、個々のデバイスリストを展開します。リスト上部の **[すべて選択]** のチェックボックスをオン/オフすると、すべてのアイテムの選択または解除ができます。
- 3 **[アンインストール]** をクリックします。
- 4 完了ダイアログボックスで、**[完了]** をクリックします。

プリンタードライバーの設定について

プリンタードライバーの設定は、アプリケーションの「印刷」ダイアログボックス、または「スタート」からアクセスできます。アプリケーションから行った設定は、そのアプリケーションが終了するまで有効です。スタートからアクセスした場合、変更はデフォルトのプリンター設定として保持されます。

デフォルトのドライバー設定を変更する

- 1 コントロールパネルで、**[デバイスとプリンター]** を選択します。
- 2 お使いのプリントシステムのモデルを右クリックし、**[印刷設定]** をクリックします。
- 3 すべてのタブで、各タブで設定したい項目を変更します。

4 [OK] をクリックします。

3 ドライバーの概要

オーバービューイメージは、印刷設定ダイアログボックスの画面下側に表示されます。イメージは、ドライバーの設定によって表示が変わります。ドライバー設定が選択されるとイメージは自動的に変わり、左側のタブをクリックして別のイメージに変更することもできます。



コンピューターの縦方向の画面解像度が 864 ピクセル以下の場合、印刷設定ダイアログボックスの下側の画面は表示されません。

- プリントデバイスのイメージには、接続されているほとんどのデバイスが表示されます。給紙元や排紙先として選択されているデバイスが緑色で強調表示されます。ジョブ保存タブでジョブ保留オプションを選択した場合、ストレージデバイスアイコンが表示されます。
- ページイメージは、簡単設定タブ、基本設定タブ、レイアウトタブでのページ設定に基づいて更新されます。
- グレースケールイメージには、印刷品質タブで選択されたグレースケール設定が表示されます。

すべてのイメージには現在の PDL (ページ記述言語) が表示されます。アプリケーションから印刷する際、PDL 設定を一時的に変更することができます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

HTML ヘルプ

プリンタードライバーソフトウェアでは、プリントデバイスから印刷する際の各種設定を行えます。プリンタードライバーは、ユーザー操作を支援するための HTML ヘルプを提供しています。プリンタードライバーのオプションを選択する際の疑問など、問題を解決するには HTML ヘルプのトピックを参照してください。

印刷設定タブ、デバイス設定タブ、および他のすべてのダイアログボックスで HTML ヘルプを開くには、キーボードの F1 キーを押すか画面右上の疑問符 (?) アイコンをクリックして、再度ダイアログボックスをクリックします。

印刷設定で PDL を選択する

- 1 オーバービューイメージの部分にある PDL をクリックします。
- 2 次の PDL オプションから選択します。
 - **[PCL XL]** を選択すると、**[白紙ページをスキップ]**、**[スマート両面印刷]**、および **[印字領域互換]** を選択できます。
 - **[KPDJL]** を選択すると、**[白紙ページをスキップ]** または **[パススルーモード]** を選択できます。**[スマート両面印刷]** も選択できます。**[パススルーモード]** を選択すると、拡張機能タブの「**EMF スプールを行う**」は使用できま

せん。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合、「パススルーモード」の設定は変更できません。

- **[PDF]** を選択すると、**[PDF 詳細設定]** をクリックして、PDF 詳細設定ダイアログボックスを開くことができます。
- **XPS** ドライバーをインストールした場合は、**[XPS 設定]** をクリックして、XPS 設定ダイアログボックスを開くことができます。

- 3** **[GDI 互換モード]** を選択すると、アプリケーションで作成したグラフィックデータの印刷品質を向上できる場合があります。

白紙ページスキップをオン、または レイアウト設定を使用を設定すると、GDI 互換モードは使用できません。

- 4** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

設定リスト

各タブの画面下側にある設定リストには、ドライバーの機能 (一部機能を除く) の現在の設定が表示されます。スクロールダウンすると、すべてのドライバータブの機能を確認できます。各オプションを選択すると、現在選択されているオプションが設定リストに表示されます。マイナス (-) またはプラス (+) アイコンをクリックして詳細の表示/非表示を切り替えられます。

印刷プレビュー

各タブの下のパインに、印刷プレビューチェックボックスが表示されます。ドライバー設定を選択した後、印刷プレビューを選択して印刷ジョブを確認することができます。プレビューには、テキストとイメージのほか、設定によってはウォーターマークまたはセキュリティ・ウォーターマークが表示されます。

プレビューで問題がないことを確認して印刷するか、またはドライバー設定を変更して印刷する場合は印刷をキャンセルします。

印刷ジョブをプレビューする

- 1** 各タブでドライバーの設定をするか、プロファイルを選択します。
- 2** 任意のタブで **[印刷プレビュー]** を選択します。
- 3** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 4** 印刷プレビューダイアログボックスが表示されると、必要に応じて次の操作を行います。
 - 矢印ボタンをクリックして、文書のページを確認します。
 - 虫眼鏡アイコンをクリックして、拡大または縮小表示にします。
- 5** プレビューを閉じて印刷前にドライバー設定を変更する場合は、**[x]** ボタンをクリックします。

- 6 プレビューに問題がなければ、プリンターボタンをクリックし、ジョブを印刷します。

バージョン情報ダイアログ

ロゴまたはバージョン情報ボタンは、デバイス設定および印刷設定ダイアログボックスの下部に表示されます。ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックすると、ドライバーの詳細バージョン、ドライバーのプラグイン情報、および製品の品質向上のためのデータ収集オプションの各ボタンを表示するバージョン情報ダイアログボックスが開きます。

バージョン情報を表示する

- 1 デバイス設定または印刷設定ダイアログボックスで、ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックし、続けて **【詳細バージョン】** をクリックすると、次のドライバー情報が表示されます。
 - File Name
 - 詳細バージョン
 - 説明
 - Date
 - Manufacturer
 - Comments
- 2 著作権情報を表示するには、**【使用条件】** をクリックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

プラグイン情報を表示する

- 1 デバイス設定または印刷設定ダイアログボックスで、ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックしてから **【プラグイン】** をクリックすると、次のプラグイン情報が表示されます。
 - Module
 - 説明
 - 詳細バージョン
- 2 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

使用状況の情報を提供する

- 1 デバイス設定または印刷設定ダイアログボックスで、ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックし、続けて **【データ収集】** をクリックします。
- 2 プライバシーポリシーを読み、参加のオプションを選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

4 デバイス設定

デバイス設定では、インストールされているプリントデバイスのオプションを選択し、プリンタードライバーで関連機能を使用できるようにします。ドライバのメモリー設定とプリントデバイスに装着されているメモリーを一致させることができます。これにより、ドライバがフォントのダウンロードをより効率的に管理できるようになります。また、管理者、ユーザー、PDL (ページ記述言語)、互換性の各設定が可能です。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

デバイス設定にアクセスする

- 1 コントロールパネルで、**【デバイスとプリンター】**を選択します。
- 2 お使いのプリントデバイスのモデルを右クリックし、**【プリンターのプロパティ】**を選択します。
- 3 **【デバイスの設定】**をクリックします。

デバイスオプション

この機能を使うと、給紙元やジョブ拡張機能などのプリントデバイス機能を拡張できます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

使用できるオプションを設定する

- 1 **【デバイス設定】 > 【使用できるオプション】**で、インストールされているすべてのオプションのチェックボックスをオンにします。
- 2 **【OK】**をクリックします。

ユーザーボックスを設定する

ジョブ保存タブのユーザーボックス機能を使用するには、まずデバイス設定タブでユーザーボックスを作成します。最大 **1000** 個のユーザーボックスを作成し、印刷ジョブを保存できます。ユーザーボックスは、プリントデバイスの操作パネルからジョブを後で印刷できるユーザーに割り当てることができます。

- 1 **【デバイス設定】 > 【使用できるオプション】**で、ストレージデバイスを選択します。すでに選択済みの場合は、オプションをダブルクリックします。

- 2 設定ダイアログボックスで、**[追加]** をクリックします。
- 3 定義されたユーザーボックスリストに、新しいボックス番号とボックス名称が表示されます。必要に応じて、ボックス番号およびボックス名称ボックスの、番号と名称を変更します。番号は 1 から 1000 までの整数、名称は 32 文字以内にする必要があります。また、ユーザー名は 20 文字以内で入力してください。
- 4 **[共有ボックス]** をオンにすると、複数のユーザーでボックスを共有できます。
 - チェックボックスがオンの場合、すべてのネットワークユーザーが、ボックスにジョブを保存できます。
 - チェックボックスがオフの場合、ボックスの所有者およびネットワーク管理者だけが、ボックスにジョブを保存できます。
- 5 印刷を開始する前にユーザーに共有ボックスのパスワードを入力するよう要求するには、**[パスワードの確認]** を選択し、最大 16 文字のパスワードを入力します。
- 6 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

印刷を開始すると、ユーザーボックスダイアログボックスが表示されます。

 - ユーザーボックスを削除するには、定義されたユーザーボックスリストからボックスを選択して、**[削除]** をクリックします。
 - ユーザーボックスリストをインポートするには、**[インポート]** をクリックして有効なユーザーボックスリストファイル (.CSV または .KXU) を選択します。
 - **[エクスポート]** をクリックすると、コンピューターまたはネットワーク内の現在のユーザーボックスリスト (.CSV または .KXU) を保存できます。保存されたリストは他のプリンタードライバーにインポートできます。

自動設定

この機能を使うと、ネットワークで接続しているプリントデバイスに装着されているプリントデバイスを検出します。自動設定は、入力デバイス、出力デバイス、ストレージデバイス、メモリー、RAM ディスクの容量を検出します。コンピューターが TCP/IP または WSD ポート経由で直接プリントデバイスに接続されている場合、自動設定ボタンがデバイス設定に表示されます。自動設定は、使用できるオプションのリスト、メモリー、オーバービューイメージを更新して、プリントデバイスとプリンタードライバーの設定を自動的に一致させます。自動設定は OS ごとに動作が異なります。

自動設定を使用しても、装着されているすべてのデバイスが検出されるわけではありません。設定内容が正しいことを確認してから、デバイス設定で **[OK]** をクリックします。

サイレント自動設定

サイレント自動設定を選択すると、ドライバーは 10 分おきにプリントデバイスをチェックし、追加デバイスやメモリーに変更がないかを確認します。変更を検出すると、ドライバーは自動的に新しい設定に更新されます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

自動設定を有効にする

- 1 すべてのオプションデバイスがプリントデバイスに接続されて電源がオンになっていて、印刷の準備が整っていることを確認します。
- 2 デバイス設定で、**【自動設定】**をクリックします。

自動設定ダイアログボックスが開きます。自動設定オプションから選択します。

自動設定の開始

ボタンをクリックすると、プリントデバイスの現在の設定を取得できます。サイレント自動設定がオフになっているときに、実行することをお勧めします。

サイレント自動設定

ドライバーがプリントデバイスを指定時間ごとに確認する設定をする場合に選択します。ドライバーは、オプションデバイスまたはメモリーの変更を定期的に確認します。

- 3 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

メモリー

メモリーは、プリントデバイスに装着されている標準メモリーとオプションメモリーの合計容量です。プリントデバイスのフォントが最も高速でダウンロードされるようにするには、ドライバーをプリントデバイスメモリーの合計容量と一致するように設定する必要があります。デフォルトでは、メモリーはプリントデバイスの標準メモリーと一致するよう設定されます。オプションメモリーを装着した場合は、ドライバーのメモリーが、デバイスのメモリー合計容量と一致するように設定してください。

メモリーを設定する

- 1 プリントデバイスに追加の DIMM メモリーを装着します。
- 2 **【デバイス設定】 > 【メモリー】** で、装着した全メモリーの容量を入力または選択します。

プリントデバイスに自動設定機能がある場合には、それを使ってメモリー容量の情報を取得できます。

RAM ディスク

一部のモデルでは、RAM ディスクは仮想ストレージデバイスとして機能し、印刷要求をプリントデバイスのメモリーに保存します。RAM ディスクは一時メモリーであるため、すべての保存されたデータは電源を切ると消失します。RAM ディスク容量の設定は、プリントデバイスの操作パネルでの設定と一致する必要があります。RAM ディスクの最大容量は、装着済みのメモリー容量によって異なります。

互換性設定ダイアログボックスで、「ドライバーのソート設定を優先する」機能を選択すると、ドライバーでのソート設定が使用されます。その場合、RAM ディスクは印刷ジョブを 1 回送信するだけで、複数のソートを行う場合に速度を上げることができます。



ストレージデバイスが装着されている場合、RAM ディスクの機能は無効になります。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

RAM ディスクを設定する

- 1 **【デバイス設定】>【使用できるオプション】**で、**【RAM ディスク】**を選択し、サイズを設定します。
- 2 プリントデバイスの操作パネルで、RAM ディスクをオンにし、容量を設定します。



操作パネルとデバイス設定のRAMディスク容量は一致する必要があります。

管理者設定

管理者がこの機能を使うことで、ユーザーや部門の管理、ドライバーの表示タブの設定、管理者設定へのアクセスを制御するためのパスワード設定などのオプションを設定できます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントは、この機能を使用できません。

一般

一般タブでは、管理者は簡単設定タブの表示を制御できます。SNMP 設定の一部、ジョブの Eメール通知、およびその他設定も選択できます。

簡単設定タブを表示する

この機能を使うと、管理者は印刷設定の簡単設定タブの表示を制御できます。よく使う印刷時の設定をあらかじめ定義しておくことで、使いやすさを向上できます。

この機能を有効にするには**【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】**で、**【簡単設定タブを表示する】**をクリックします。有効にすると、次のオプションにアクセスできます。

簡単設定タブ以外を隠す

ユーザーには簡単設定タブだけが表示されるようになります。

初期画面を簡単設定タブにする

印刷設定画面にアクセスすると、簡単設定タブが開くようにします。

編集/追加ボタンを隠す

ユーザーは簡単設定タブをカスタマイズできなくなります。

カウント情報を送信する

この機能を使うと、管理者は、印刷ジョブにカウント情報を埋め込むことができます。印刷ジョブは、部門管理機能に対応したアプリケーションで使用できます。カウント情報には、印刷ページ数、両面印刷、ページ集約、および用紙サイズを含みます。

Net Manager を選択した場合、カウント情報は自動的に選択されます。

この機能を有効にするには、【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】で、【カウント情報を送信】をクリックします。

アプリケーション名を発行する

この機能を使うと、管理者は、異なる印刷プロセスを各アプリケーションで使用できるように、印刷ジョブにアプリケーション名を付加して送信できます。

この機能は、PDF が PDL として選択されている場合は使用できません。

この機能を有効にするには、【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】で、【アプリケーション名を発行】をクリックします。

アプリケーション別の印刷設定を有効にする

この機能を使うと、管理者は、プロファイルをアプリケーションと関連付け、そのアプリケーションからのすべての印刷に同一のプロファイル設定を適用できます。この機能を使用する前に、次の手順を行います。

- 任意の印刷設定タブからアクセスする「プロファイル」ダイアログボックスで、プロファイルを作成する必要があります。
- 「プロファイル」ダイアログボックスから「アプリケーション別の印刷設定」ダイアログボックスにアクセスし、プロファイルとアプリケーションを関連付ける必要があります。

デフォルトでは、この機能は有効です。この機能を無効にするには【デバイス設定】>【管理者】>【一般】で、【アプリケーション別の印刷設定を有効にする】のチェックボックスをオフにします。

パスワードで管理者設定を保護する

この機能を使うと、管理者は、管理者設定ダイアログボックスで「設定を保護する」をオンにすることで、このダイアログボックスに対して不正に変更されるのを防ぐことができます。この設定をオンにすると、パスワードの入力とパスワードの確認を求めるプロンプトが表示されます。このパスワード保護は、すべての管理者設定オプションへのアクセスをブロックします。

管理者パスワードを設定する

- 1 【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】で、【設定を保護する】を選択します。
- 2 パスワード設定ダイアログボックスで、パスワードを 4～16 文字で入力します。「新しいパスワードの確認」にパスワードを再入力し、【OK】をクリックします。

管理者パスワードをクリアする

- 1 デバイス設定で、【管理者設定】をクリックします。
- 2 パスワード設定ダイアログボックスで、パスワードを入力し【OK】をクリックします。
- 3 管理者設定ダイアログボックスで、【設定を保護する】チェックボックスをオフにし、【OK】をクリックします。

初期設定プロファイルを隠す

この機能を使うと、管理者は、簡単設定タブとプロファイルダイアログボックスにある初期設定プロファイルを表示または非表示にできます。

- チェックボックスをオンにすると、初期設定プロファイルはリストに表示されません。
- チェックボックスをオフにすると、初期設定プロファイルはリストに表示されます。

下のペインを隠す

管理者がこの機能を使うと、下のペインを隠して印刷設定ダイアログボックスのサイズを小さくすることができます。オーバービューイメージと設定リストは、ビューから削除されます。PDL 選択、プロファイルボタン、および印刷プレビューチェックボックスはそのまま使用できます。

一部の画面表示や画面解像度の設定では、「下のペインを隠す」チェックボックスが自動的に選択されます。

SNMP 設定

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) は、デバイスエージェントの管理およびネットワーク管理システムを制御する、アプリケーションレイヤーのプロトコルです。プリントデバイスなどの管理対象デバイスは、ネットワーク管理システム用の管理情報を収集して保存します。SNMP のセキュリティーレベルは、SNMP 設定ダイアログボックスの設定により指定されます。SNMPv3 では、暗号化と認証がサポートされます。SNMP 設定は、プリンタードライバーおよびプリントデバイスのホームページで設定する必要があります。

使用可能な SNMP オプションは、次のとおりです。

SNMPv1/v2c

リードコミュニティ名とライトコミュニティ名を使用して管理対象デバイスと通信します。

SNMPv3

認証と暗号化のセキュリティー拡張機能には、ユーザー名とパスワードが必要です。設定をクリックすると、認証オプションやプライバシーオプションが使用できるようになります。

設定を他の機種に反映

このオプションを使用すると、設置したプリントデバイスのリストが表示され、選択した **SNMP** 設定を適用できます。

SNMPv3 オプション

[SNMPv3] オプションを選択すると、プリントデバイスとの通信の安全性を高めることができます。

認証

転送されたファイルが完全な状態で到達し、受信されたかどうかを確認するアルゴリズムを実行します。MD5 (Message Digest 5) および SHA1 (Secure Hash Algorithm 1) は、パケットデータの認証に用いられるアルゴリズムです。

MD5

このオプションは、128 ビットのハッシュ値を生成する暗号化用ハッシュ関数を実行します。

SHA1

160 ビット長のメッセージダイジェストを生成します。SHA1 は、MD5 の後継アルゴリズムです。

暗号通信

通信の信頼性を高めるために暗号化が使用されます。このオプションは、**[認証]** オプションを選択すると選択できるようになります。次の **[暗号通信]** オプションから 1 つ選択します。

DES

暗号化技術として DES (Data Encryption Standard) が使用されます。DES は、暗号化アルゴリズムを使用して平文を暗号文に変換します。暗号化と復号化には、8 バイト長のブロックと 56 ビット長のキーが使用されます。

AES

暗号化技術として AES (Advanced Encryption Standard) が使用されます。AES は、対称的に構成されたブロックによる暗号文で、128、192、256 ビット長の暗号鍵を使用して 128 ビットのデータブロックを処理することができます。この方法は、DES よりも安全性が高くなります。

SNMP 設定を選択する

- 1 **[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般]** で **[SNMP設定]** をクリックします。
- 2 **[SNMPv1/v2c]** または **[SNMPv3]** を選択します。
 - SNMPv1/v2c の場合は、**[リードコミュニティ名]** と **[ライトコミュニティ名]** を最大 32 文字で入力します。
 - SNMPv3 の場合は、ユーザー名を最大 32 文字で入力して、パスワードを 8 ～ 32 文字で入力します。
- 3 SNMPv3 に認証とプライバシーオプションを設定するには、**[設定]** をクリックします。
- 4 SNMPv3 設定ダイアログボックスで、使用可能なオプションを選択し、**[OK]** をクリックします。
- 5 「設定を他の機種に反映」では、設定を適用できるモデルを選択できます。SNMPの設定が、選択したすべてのモデルに適用されます。
- 6 **[OK]** をクリックします。

ジョブのメール通知

この機能を使うと、管理者はメールアドレスを印刷ジョブに含めることができます。印刷ジョブが終了すると、ジョブで指定したアドレスにデバイスからメールによる通知が送信されます。デバイスが多数のジョブを印刷していて、印刷終了まで時間がかかる場合に便利です。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、デバイス設定の管理者設定ボタンが、認証ボタンになります。メール通知のデータは、認証設定ダイアログボックスで入力できます。

メール通知オプションを選択する

- 1 **[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般]** で、**[印刷完了通知]** を選択します。
- 2 メールアドレスのオプションを選択します。
 - **[特定の Eメールアドレスを使用]** を選択し、有効なメールアドレスを入力します。クライアント/サーバー環境では、クライアントユーザーによるアドレス変更が可能です。
 - **[印刷時に Eメールアドレスを入力]** を選択し、**[OK]** をクリックします。印刷の際に、印刷ダイアログボックスで **[OK]** をクリックし、印刷オプションまたは認証設定ダイアログボックスで有効なメールアドレスを入力し、**[OK]** をクリックします。
- 3 一部のモデルでは、印刷中に発生した問題について通知を受け取る場合は、**[印刷中断時に通知]** を選択します。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ロック設定

この機能を使うと、管理者はドライバーの各タブの設定や機能レベルを指定し、それらをロックすることができます。ロックされた設定は、すべての印刷ジョブに適用され、変更が制限されます。ロック設定は、【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】で行います。たとえば、文書を両面印刷するようにドライバーを設定しておくことができます。用紙が節約されるため、経費の削減および環境保護につながります。

設定をロックすると、ほかのタブで表示される同じ機能もロックされます。たとえば、【両面印刷】を選択すると、簡単設定および基本設定タブでもその機能がロックされます。

また管理者は、一時的に機能のロックを解除するためのパスワードを設定することもできます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

ロック設定のオプション

ロック設定タブには、管理者がロックできるドライバー設定が表示されます。ロックすると、ユーザーの変更は制限され、設定はすべての印刷ジョブに適用されます。設定が有効になると、「パスワードの設定」オプションにアクセスできます。これにより、管理者は用紙やトナー量の使用を管理できます。

エコプリント

簡単設定、基本設定、または印刷品質タブで選択されているエコプリント設定をロックします。

両面印刷

簡単設定または基本設定タブで選択されている両面印刷設定をロックします。

ページ集約

簡単設定タブの現在のページ集約設定、およびレイアウトタブのページ集約設定をロックします。レイアウトタブでは、「1 シートのページ数」オプションはロックされません。

アプリケーション別の印刷設定

アプリケーションごとに定義したドライバー設定のプロファイルをロックします。

ジョブ保存タブ

ジョブ保存タブで選択された設定をロックします。

セキュリティー・ウォーターマーク

拡張機能タブで選択したセキュリティー・ウォーターマーク設定をロックします。セキュリティー・ウォーターマークは、オプションのプラグインです。

ウォーターマーク

拡張機能タブで選択したウォーターマーク設定をロックします。

パスワードの設定

管理者が設定したパスワードを使用して、選択したドライバー機能をロックできます。管理者がパスワードを設定している場合、ドライバーのタブ、または「アプリケーション別の印刷設定」ダイアログボックスに、ロック解除アイコンが表示されます。ロックを解除するには、ロック解除をクリックし、パスワードを入力します。

ドライバー設定をロックする

- 1 **【デバイス設定】>【管理者設定】**で**【ロック設定】**をクリックします。
- 2 ロックする各ドライバー機能のチェックボックスを選択します。
- 3 一時的に設定を解除するためにパスワードを設定する場合は、**【パスワードの設定】**のチェックボックスをオンにします。
パスワードの設定ダイアログボックスで、**4 ～ 16** 文字のパスワードを入力します。新しいパスワードの確認にもう一度パスワードを入力し、**【OK】**をクリックします。
パスワードを削除するには、**【パスワードの設定】** チェックボックスのチェックをオフにします。パスワードの解除ダイアログボックスで、パスワードを入力し **【OK】** をクリックします。
- 4 ロック設定の内容を保存するには、**【OK】** をクリックします。

パスワードが設定されている場合は、ロックされている機能が表示されているドライバータブに、ロック解除アイコンが表示されます。機能のロックを解除し一時的に設定を変更するには、**【ロック解除】** をクリックし、パスワードを入力します。

ユーザー管理

一部のモデルで使用可能で、この機能を使用すると、管理者はユーザーごとにジョブ制限を提供できます。部署や部門ごとに権限を割り当てる部門管理とは異なりますのでご注意ください。

プリンタードライバーで最大 **100** 件のログインユーザー名とパスワードを作成して保存し、プリントデバイスに登録することができます。モデルによっては、最大 **1000** 件保存できます。

ユーザーはユーザー名とパスワードによって認識されます。ユーザー名は、UPN 形式 (username@domain.com) での入力も可能です。この機能により、指定されたユーザーのみに印刷の権限が制限されるため、機密性の高い印刷と課金が行えます。それぞれのユーザーが印刷したページ数は、プリントデバイスによって管理されます。

また、プリンタードライバーに追加されたユーザーは、プリントデバイスの操作パネルから手動で登録する必要があります。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは一部のオプションを利用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、デバイス設定の管理者設定ボタンが、認証設定ボタンになります。ユーザーログインのデータは、認証設定ダイアログボックスで入力できます。

ユーザー管理のオプション

プリンタードライバで選択したユーザー管理の設定は、コンピュータから送信されたすべての印刷ジョブに適用されます。

特定のログインユーザー名を使用

このオプションは、特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じユーザー管理が使用できます。このオプションが選択されていると、ユーザーは印刷ジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

クライアント/サーバー環境のクライアントコンピュータには、管理者によって設定されたデフォルトのユーザー名とパスワードを使用するか、別の名前とパスワードを入力することができます。**【標準に戻す】**をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

印刷時にログインユーザー名を入力

印刷の際にユーザー名とパスワードの入力を求められます。リストにはないユーザー名を使用し、リストにユーザー名を追加しないでおくこともできます。印刷ジョブを送信する際、ユーザー名とパスワードの入力を求められたら、**[OK]**をクリックして印刷します。

登録ログインユーザーリスト

クリックして、ログインユーザー名とパスワードを追加、削除、編集、インポート、またはエクスポートすることができます。登録ログインユーザーリストを作成すると、テキストファイル (.CSV、.KXC、.TXT) 形式で保存することにより、まとめてエクスポートできます。登録ログインユーザーリストをインポートするには、既存のリストを参照し、それをプリンタードライバに保存します。

印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)

印刷の際にユーザー名とパスワードの入力を求められます。印刷するジョブに関して、入力するユーザー名とパスワードは登録ログインユーザーリストにある必要があります。ドライバのログインユーザー名リストに入力されているログインユーザー名を使用できます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたらユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]**をクリックして印刷します。このオプションは、選択されたユーザー名がドライバに保存されていることが確認された場合だけ、ジョブを印刷します。

ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス) を確認

このオプションは、**Windows** ユーザー名をドライバの登録ログインユーザーリストで検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷する際に行われます。**Windows** ユーザー名が登録ログインユーザーリストに存在する場合、そのリスト内の関連付けられたドライバのログインユーザー名とパスワードを使用してジョブを印刷できます。登録ログインユーザーリストが **Windows** ユーザー名と関連付けられていない場合、ユーザー名と関連付ける登録ログインユーザーリストとパスワードの入力が求められます。

一致するユーザー名が見つからない場合、ドライバは管理者権限またはユーザー権限を確認します。ユーザー権限だけを持つユーザーには、印刷ジョブがキャンセルされ、管理者に問い合わせるよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバにより、ログ

インユーザー名とパスワードの入力を求められます。Windows ユーザー名とともに、これらをリストに追加しておくと、印刷ジョブを続行するためにユーザーがログインユーザー名とパスワードを再入力する必要がなくなります。

ユーザー管理を使用して印刷する

ログインユーザー名が割り当てられ、プリントデバイスのユーザーログインモードがオンに設定された後、**【ユーザー管理】**を選択して、ユーザーログインモードで印刷を実行できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントには自動的にサーバーで設定したユーザー管理の設定が適用されます。

- 1 デバイス設定で、次の順に進みます。

【管理者設定】 > 【ユーザー管理】 > 【ユーザー管理】

- 2 ユーザー管理オプションを選択します。

- 特定のログインユーザー名を使用
- 印刷時にログインユーザー名を入力
- 印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)
- ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス) を確認



ログインユーザー名リストからユーザー名を追加または選択する場合は、最後の 2 つのオプションのみを選択できます。リストを表示および管理するには、ボタンをクリックします。

- 3 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

- 4 アプリケーションから文書を印刷します。

- 5 必要に応じて名前とパスワードを入力または選択し、**【OK】** をクリックします。

部門管理

一部のモデルで使用可能なこの機能により、管理者はプリントデバイスを管理できます。部門管理を使用すると、ユーザーまたは部署に部門コード (識別番号) を割り当てることができます。特定の部門コードを割り当て、印刷時に入力を求めるよう設定できます。プリントデバイスの操作パネルで部門コードを作成すると、特定の部門コードの印刷枚数を確認または制御できます。部門コードは、最大 8 桁指定可能です。

プリントデバイスで部門管理を有効にする必要があります。最大 100 件の部門コードをプリントデバイスに割り当て、プリンタードライバーに保存することができます。モデルによっては、最大 1000 件保存できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターは一部のオプションを利用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、デバイス設定の管理者設定ボタンが、認証設定ボタンになります。部門管理のデータは、認証設定ダイアログボックスで入力できます。

部門管理オプション

部門管理では、次のオプションをサポートします。

特定のコードを使用

このオプションでは、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブごとに部門コードが送信されます。

印刷時、ユーザーはジョブ保存タブで、異なる部門コードを選択することができます。【管理者設定】>【部門管理】で設定したデフォルトの部門コードは変更されません。

クライアントコンピューターはクライアント/サーバー環境で、管理者によって設定されたデフォルトの部門コードを使用するか、他の部門コードを入力することができます。【標準に戻す】をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

印刷時にコードを入力

このオプションでは、部門コードを入力するよう求めるだけでなく、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブが送信されるとき、ユーザーは部門コード ID を入力するよう求められます。

部門コード

リストの部門コードを追加、編集、または削除できます。最大 100 件の部門コードをプリンタードライバーに保存できます。モデルによっては、最大 1000 件保存できます。プリントデバイスが TCP/IP ポートや WSD ポートに接続されている場合、プリントデバイスに保存されている部門コードリストを取得することができます。部門コードリストを作成すると、このリストをテキストファイル (.CSV、.KXC、.TXT) 形式で保存することにより、まとめてエクスポートすることができます。部門コードリストをインポートするには、既存のリストを参照して開きます。

印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)

このオプションでは、ドライバーに保存された部門コードを指定するよう求められます。印刷ジョブを送信する際、部門コードの入力を促すメッセージが表示されたら、コードを入力し、【OK】をクリックして印刷します。部門コードは、部門コードリストと照合されます。入力を間違えた場合は、もう一度部門コードを入力するよう求められます。

印刷時にコードリストから選択

このオプションでは、印刷時に部門コードリストを表示します。ユーザーまたはグループに印刷ジョブを割り当てることができます。部門コードはドライバーに保存され、リストを表示するには 1 件以上の部門コードを作成しておく必要があります。

ユーザー (ホスト) ごとに部門コードを確認

このオプションは、Windows ユーザー名をドライバーの部門コードで検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷する際に行われます。Windows ユーザー名が部門コードリストに存在する場合は、そのリスト内の関連付けられたドライバーの部門コードを使用してジョブを印刷できます。部門コードが、Windows ユーザー名と関連付けられていない場合、ユーザー名と関連付けたい部門コードの入力が求められます。

一致する部門コードが見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限を確認します。ユーザー権限のみ持つユーザーには、印刷ジョブがキャンセルされ、管理者に問い合わせるよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバーにより、部門コードの入力を求められます。**Windows** ユーザー名とともに、これをリストに追加しておく、印刷ジョブを続行するためにユーザーが部門コードを再入力する必要がなくなります。

部門コードリストを取得する

- 1 **【デバイス設定】>【管理者設定】>【部門管理】** で、**【部門管理】** を選択して **【取得】** をクリックします。
- 2 「部門管理リストを取得」ダイアログボックスで、ユーザー名とパスワードを入力し、認証モードを選択します。
- 3 **【OK】** をクリックします。

既存のリストは、新しく取得された部門コードリストに置き換えられます。

部門コードを追加または編集する

- 1 **【デバイス設定】>【管理者設定】>【部門管理】** から、**【部門管理】** を選択します。
 - コードを作成するには、**【追加】** をクリックします。
 - 既存の部門コードを編集するには、リストから部門コードを選択し **【編集】** をクリックします。
- 2 コードで、最大 8 桁の数字を入力します。
- 3 説明に、ユーザーやグループ名などの部門コードの説明を入力できます。
- 4 ユーザー名で、**Windows** ユーザー名を、最大 20 文字で入力します。ユーザー名は大文字と小文字の区別がありません。
- 5 **【追加】** をクリックしてユーザー名 (ホスト) リストに名前を追加します。
- 6 部門コードをリストから削除するには、削除する部門コードを選択し **【削除】** をクリックします。
- 7 **【OK】** をクリックします。

部門管理を使用して印刷する

- 1 デバイス設定で、次の順に進みます。
【管理者設定】>【部門管理】>【部門管理】
- 2 次のいずれかを選択します。
 - 特定のコードを使用
 - 印刷時にコードを入力

- 印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)
- 印刷時にコードリストから選択
- ユーザー (ホスト) ごとに部門コードを確認



コードリストからコードを追加または選択する場合は、最後の 3 つのオプションのみを選択できます。リストを表示および管理するには、ボタンをクリックします。

- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 4 アプリケーションから文書を印刷します。
- 5 必要に応じてコードを入力または選択し、**[OK]** をクリックします。

Net Manager

Net Manager は、ユーザー認証の一括管理、承認、ユーザーアクセス管理、セキュアプルプリント機能を提供するサーバーベースのアプリケーションです。Net Manager アプリケーションを別途インストールする必要があります。また、Net Manager と連携するには、プリンタードライバーの **[デバイス設定] > [管理者設定] > [Net Manager]** での設定が必要です。Net Manager のドライバー機能は、プリンタードライバーのオプションとしてインストールされます。

XPS ドライバーは Net Manager をサポートしていません。Net Manager の詳細については、プリントデバイスの販売店にお問い合わせください。

管理者は、Net Manager サーバーとユーザー情報を設定して、ユーザーとグループがポリシーに基づいた印刷を行うようにすることができます。「サイトサーバーアドレスを自動検知」が選択されている場合、サーバーがマスターサーバーに代わります。マスターサーバーのアドレスを入力でき、サイトサーバーは認証のために自動的に取得されます。それによって、毎回サーバーアドレスを変更することなく、組織内のどの場所でもネットワーク印刷ができます。

ポリシーで印刷機能を制限した場合、Net Manager は、プリンタードライバーの設定を変更するため、一部の印刷機能が対象のユーザーまたはグループに対して制限されます。ポリシーとプリンタードライバーの設定に不一致がある場合の対処は、プリンタードライバーの Net Manager タブで設定できます。

セキュリティを強化するため、登録したユーザーログイン名を Net Manager ユーザー名として使用できます。ユーザーログインパスワードは不要です。この機能を使うと、Net Manager のオプションは使用できません。

セキュアプルプリントでは、ジョブを送信した後に印刷するプリントデバイスを選択できます。セキュアプルプリント機能を使用するには、プリンタードライバーは Net Manager のスプーラーのポートを使用して、Net Manager のスプーラーのサーバーに接続する必要があります。プリントデバイスでユーザーが認証されるまで、印刷ジョブは Net Manager スプーラーサーバーで保持されます。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、デバイス設定の管理者設定ボタンが、認証設定ボタンになります。Net Manager のデータは、認証設定ダイアログボックスで入力できます。**[Windows 認証を使用]** を選択している場合は、認証設定ボタンは使用できません。

Net Manager オプションを選択する

- 1 **[デバイス設定] > [管理者設定] > [Net Manager]** で、Net Manager オプションを選択します。

ユーザーログインを **Net Manager** ユーザー名として使用する

このオプションを使用する場合、手順 7 に進みます。

「印刷」をクリックすると、印刷オプションまたは認証設定ダイアログボックスで、登録済みユーザーログイン名を入力できます。印刷ジョブは、Net Manager サーバーに送信されます。

Net Manager

このオプションを使用する場合、手順 2 に進みます。

- 2 サーバーアドレスを入力します。

サイトサーバーがマスターサーバーで管理されている場合は、**[サイトサーバーアドレスを自動検知]** を選択します。マスターサーバーで、マスターサーバーのアドレスを入力します。

- 3 ポート番号を入力します。デフォルトのポート番号は **9094** です。

- 4 認証のオプションを選択します。

Windows 認証を使用

Net Manager の認証に Windows のログイン情報を使用します。Windows 認証が失敗した場合を除き、印刷中に Net Manager ログインダイアログボックスは表示されません。このオプションを使用する場合、手順 6 に進みます。

ワークグループ環境では、Windows 認証を使用は設定できません。

特定のログインユーザー名を使用

特定のログイン情報を入力するために選択します。選択した場合は、手順 5 に進みます。

- 5 ログインユーザー名とパスワードを入力します。ログインユーザー名は、複数のドメインをサポートするため、ユーザープリンシパル名 (UPN) 形式 **username@domain.com** で入力できます。

- 6 印刷中にポリシーの不一致が発生したときにメッセージが表示されないようにするには、**[ポリシーが不一致の場合に通知を表示しない]** を選択します。有効な場合、次のいずれかを選択します。

印刷を続ける

ポリシーを適用し、印刷を続けます。

印刷をキャンセルする

印刷ジョブをキャンセルします。

- 7 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

Net Manager を使用して印刷する

- 1 アプリケーションの印刷ダイアログボックスを開きます。**【印刷設定】**または**【プロパティ】**をクリックして、プロパティダイアログボックスを開き、ポリシーで設定された印刷制限を確認できます。
- 2 **Net Manager** ログインまたは認証設定ダイアログボックスが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。ドライバーで **Net Manager** のユーザー名またはパスワードが無効または空白の場合は、ダイアログボックスが表示されます。**【管理者設定】 > 【Net Manager】** で、**Windows** 認証が使用が選択されている場合、**Windows** 認証が失敗した場合を除き、**Net Manager** ダイアログボックスは表示されません。
- 3 各印刷ジョブに前回保存したユーザー名とパスワードを使用する場合、**【次回から表示しない】** をクリックします。選択すると、**Net Manager** ログインダイアログボックスは非表示になります。
- 4 **【ログイン】** をクリックして、ログインユーザー名とパスワードが認証された **Net Manager** スプーラーサーバーに印刷ジョブを送信します。
印刷ジョブは、メインの **Net Manager** ウェブアプリケーションのジョブタブに表示されます。
- 5 **Net Manager** の設定によっては、ジョブが印刷される前に印刷オプションダイアログボックスが開き、印刷割り当ての情報を表示します。**【OK】** をクリックし続行します。
- 6 プリントデバイスの操作パネルで、認証のための情報を入力しスプールのジョブを実行します。印刷は、**Net Manager** サーバーが管理するいずれのデバイスからも行えます。

ユーザー設定

この機能を使うと、ユーザー名と部署・部門名を指定し、デフォルトの単位を選択することができます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントは部署・部門名と単位は使用できません。ユーザー名は変更できます。

ユーザー登録

この機能を使うと、最大 31 文字のユーザー名と部署・部門名を使用して、印刷ジョブを識別できます。2 バイト文字もサポートしています。ユーザー名は、ストレージデバイスに保存されている印刷ジョブの識別に使用できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントユーザーはユーザー名を変更することができます。これにより、サーバーのデフォルトユーザー名は変更されません。

ユーザー登録情報を設定する

- 1 **【デバイス設定】 > 【ユーザー設定】** で、ユーザー名テキストボックスにユーザー名を入力します。

- 2 部署・部門名テキストボックスに、部署・部門名またはグループ名を入力します。
ユーザー名および部署・部門名テキストボックスには、最大 31 文字入力できます。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

単位

この機能を使うと、単位に、【インチ】または【ミリ】のどちらかを設定できます。単位は、次の設定に使用されます。

- 基本設定タブの原稿サイズ設定
- 拡張機能タブのウォーターマークの追加およびウォーターマークの編集ダイアログボックスにある間隔の設定
- レイアウトタブのポスターの設定
- レイアウトタブのとじしろ設定

単位を選択する

- 1 **[デバイス設定] > [ユーザー設定]** で、【インチ】または【ミリ】のどちらかを選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

PDL (ページ記述言語)

この機能を使うと、印刷ページのコンテンツおよびレイアウトを指定できます。デバイス設定で、PDL を次のいずれかに設定します。

- PCL XL
- PCL 5c/5e
- KPD L
- PDF



PDF は、PDF 作成のプラグインがインストールされた場合のみ使用できます。デフォルトは、一般的に使用されている PCL XL に設定されています。

PDL を選択すると、デバイス設定および印刷設定のすべてのタブにあるオーバービューイメージの下隅に、選択した PDL が表示されます。印刷設定の任意のタブで PDL を一時的に変更することもできます。

GDI 互換モードが選択された場合、ベクトルグラフィックのラスタライズを行い、ビットマップイメージとして印刷します。このオプションを使用すると、アプリケーションで作成したグラフィックを高品質で出力することができます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーはこの機能を使用できません。

使用するアプリケーションが **XML Print Specification** をサポートしている場合、**XPS** ドライバーをインストールした後で **XPS** 印刷を実行できます。**XPS** ドライバーの場合、選択可能な **PDL** は **XPS** だけです。

PDL オプション

PDL オプションは、デバイス設定 の **PDL (ページ記述言語)** ダイアログボックスで選択できます。

PCL XL

HP PCL と **PCL 6** の最新バージョンです。この **PDL** には、**PCL 5c/5e** の機能が含まれています。**PCL XL** には、**PCL** の旧バージョンとの下位互換性はありませんが、次の点において、**PCL 5c/5e** の機能よりも強化されています。

- ファイルサイズの圧縮
- 印刷速度の高速化
- アプリケーションに戻る速度の高速化
- セキュリティー・ウォーターマークに対応
- 細線化に対応

PCL 5c/5e

- **PCL** の旧バージョンとの完全な互換性
- 双方向通信のサポート
- **Microsoft Windows** のアプリケーションで利用できるフォントの種類の拡大
- 複雑なグラフィックを印刷できない場合がある
- ページのはじめ/ページの終わりは、プロローグ/エピローグで使用可

KPDL

PostScript 2 または **3** がサポートされているアプリケーションから印刷する場合は、**KPDL** を使用します。

- **PostScript** 印刷のエミュレーション
- グラフィックの再生機能の強化
- 印刷速度は、**PCL 5c/5e** よりも遅くなる場合がある
- **PCL 5c/5e** よりも大きなプリンターメモリー容量が必要
- ネイティブ **TrueType** フォントのダウンロードが可能
- 多彩なグラフィックス設定オプションをサポート
- 「**EMF** スプールを行う」は、パススルーモードが選択されている場合は使用不可

PDF

Output to PDF (PDF作成) は、さまざまなデータ元から文書を **Adobe PDF** 形式に印刷または保存できるプラグインです。**PDF** 形式は、文書の作成に使われたオペレーティングシステムやアプリケーションに依存しません。

- **PDF** 文書作成のため、既存の市販アプリケーションの代用として使用可能
- 元の文書のレイアウトを保持
- **PDF** コンテンツを表示できる **OS** 上で閲覧や印刷が可能
- 一部のドライバー機能は使用不可

PDL 設定

ページ記述言語によっては、PDL (ページ記述言語) ダイアログボックスで追加の設定を行えます。

PCL XL 詳細設定

白紙ページをスキップ

このオプションは、印刷データのないページや、空白 (スペース) 文字だけのページの出力を防ぎます。これにより、用紙の節約と印刷時間の多少の短縮が可能になります。

- 白紙ページを含む全ページを印刷する場合は、**【オフ】**を選択してください。
- 白紙ページを含まない場合は、**【オン】**を選択してください。
- 製本、両面印刷、またはページ集約機能を使用する場合、白紙ページを含めた全ページを印刷するには、**【レイアウト設定を使用】**を選択します。選択しない場合、白紙は印刷されません。

スマート両面印刷

両面印刷の際に片面だけの印刷で終わる場合、用紙が両面ユニットを経由しないで印刷を終えるようにします。片面 1 ページだけの文書を印刷する場合、複数ページの文書から 1 ページだけを印刷する場合、複数ページをページ集約機能で 1 ページに印刷する場合は、用紙は両面ユニットを経由しません。このオプションを選択すると、両面ユニットの消耗を低減でき、印刷時間の短縮にもつながります。

印字領域互換

印字領域互換を選択すると、印刷領域が他社製製品の印刷領域と異なる際に、近づけることができる場合があります。

KPDL 詳細設定

白紙ページをスキップ

このオプションは、印刷データのないページや、空白 (スペース) 文字だけのページの出力を防ぎます。これにより、用紙の節約と印刷時間の多少の短縮が可能になります。

- 白紙ページを含む全ページを印刷する場合は、**【オフ】**を選択します。
- 白紙ページを含まない場合は、**【オン】**を選択します。
- 製本、両面印刷、またはページ集約機能を使用する場合、白紙ページを含めた全ページを印刷するには、**【レイアウト設定を使用】**を選択します。選択しない場合、白紙は印刷されません。

スマート両面印刷

両面印刷の際に片面だけの印刷で終わる場合、用紙が両面ユニットを経由しないで印刷を終えるようにします。片面 1 ページだけの文書を印刷する場合、複数ページの文書から 1 ページだけを印刷する場合、複数ページをページ集約機能で 1 ページに印刷する場合は、用紙は両面ユニットを経由しません。このオプションを選択すると、両面ユニットの消耗を低減でき、印刷時間の短縮にもつながります。

パススルーモード

このオプションは、PostScript 形式のアプリケーションによる複雑なジョブを印刷する際に、エラーを減らすことができます。選択すると拡張機能タブの「EMF スプールを行う」は使用できません。

PDF 詳細設定

文書を Adobe PDF フォーマットで印刷および保存するオプションを提供します。詳細については PDF の項を参照してください。

デバイス設定で PDL を選択する

- 1 **[デバイス設定] > [PDL]** で、言語の選択リストからページ記述言語を選択します。
 - **[PCL XL]** を選択すると、**[白紙ページをスキップ]**、**[スマート両面印刷]**、および **[印字領域互換]** を選択できます。
 - **[KPDLL]** を選択すると、**[白紙ページをスキップ]** または **[パススルーモード]** を選択できます。**[スマート両面印刷]** も選択できます。**[パススルーモード]** を選択すると、拡張機能タブの「EMF スプールを行う」は使用できません。
 - **[PDF]** を選択すると、**[PDF 詳細設定]** をクリックして、PDF 詳細設定ダイアログボックスを開くことができます。
- 2 **[GDI 互換モード]** オプションを選択すると、自分のアプリケーションで作成したグラフィックの出力品質を向上させることができます。

白紙ページスキップを「オン」、または「レイアウト設定を使用」を設定すると、GDI 互換モードは使用できません。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

PDF

プラグイン機能を使うと、文書をさまざまなデータ元から Adobe PDF 形式に印刷または保存できます。この機能は、PDF 文書を作成する場合に、既存の商用アプリケーションの代わりとして使用できます。PDF 形式で保存された文書は、元の文書のレイアウトを保持し、PDF コンテンツを表示できる OS 上で閲覧、印刷ができます。

複数の用紙サイズが混在する文書の場合は、PDF のすべてのページで、最初のページのサイズが使用されます。



PDL として PDF を選択した場合、一部のドライバーのオプションのみ使用できます。

PDF オプション

Output to PDF (PDF 作成) プラグインがインストールされている場合、PDF オプションを選択できます。PDF 詳細設定ダイアログボックスでは、次のオプションを使用できます。

フォントを埋め込む

このオプションを使用すると、文書中のフォントは PDF ファイルで設定されたとおりに画面に表示されます。このオプションを使用すると、ファイルの見ばえを正確に再現できますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。

データを圧縮する

このオプションを使用すると、PDF 文書を圧縮できます。ファイルサイズが大幅に小さくなります。

印刷と保存オプション

リストから、印刷 (印刷のみ)、PDF ファイルに保存 (ファイルに保存)、またはその両方 (印刷と保存) を選択します。保存オプションを選択すると、PDF 詳細設定 ダイアログボックスで追加オプションを選択できます。

カラーとして保存

このオプションでは、PDF ファイルをカラー文書として保存します。「印刷のみ」が選択された場合には表示されません。

規定のフォルダーに自動保存

既定のフォルダーに PDF ファイルを自動的に保存します。PDF ファイルを保存する場所を指定します。

日付と時間

- チェックボックスをオンにすると、同じファイル名に、ファイル保存時の日付と時間が追加されます。
- チェックボックスをオフにすると、同名のファイルがすでに存在する場合、そのファイルを上書きします。

暗号化

暗号化では、PDF ファイルの暗号化のレベルを選択します。このオプションを選択すると、権限のないユーザーが文書を開いたり改ざんしたりすることができないように、パスワード保護が使用できます。

Arc4 40

この暗号化オプションは、PDF 文書に対して低レベルのセキュリティを提供します。このオプションは、Adobe Acrobat および Adobe Reader 6.0 以前をサポートしています。

Arc4 128

この暗号化オプションは、PDF 文書に対して低レベルのセキュリティを提供します。このオプションは、Adobe Acrobat および Adobe Reader 6.0 以降をサポートしています。

AES 128

この暗号化オプションは、PDF 文書に対して高レベルのセキュリティを提供します。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 7.0 以降をサポートしています。

AES 256

この暗号化オプションは、PDF 文書に対して高レベルのセキュリティを提供します。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 9.0 以降をサポートしています。

パスワード保護

セキュリティ設定を変更したり、文書を開いたりするためのパスワードを選択します。パスワードには、最大 16 文字設定できます。

セキュリティ設定を変更するパスワード

チェックボックスをオンにして、オーナーパスワード (権限パスワード) を入力します。Adobe Acrobat では、このパスワードは、PDF のセキュリティセクションの設定を変更するために必要です。このパスワード保護された PDF ファイルを Adobe Reader で開いた場合、文書の印刷、編集、コピーはできません。

文書を開くパスワード

チェックボックスをオンにして、ユーザーパスワードを入力します。PDF 文書を開くときに、ユーザーパスワードを入力する必要があります。このパスワードは、オーナーパスワードとは異なるものに設定する必要があります。

PDF を印刷および保存する

- 1 [デバイス設定] > [PDL] で、言語の選択リストから [PDF] を選択します。
- 2 [PDF 詳細設定] をクリックします。
- 3 PDF 詳細設定ダイアログボックスの、印刷と保存オプションで、PDF ファイルを印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。
保存オプションを選択した場合は、保存先フォルダー、暗号化、パスワードオプションを指定します。
- 4 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。
- 5 文書を開いて印刷します。
- 6 PDF ファイルに名前を付けて、保存します。

XPS ドライバー

Windows 7 以降および Windows Server 2008 以降では、XML Paper Specification (XPS) を使用できます。ページ記述言語は、書類の表示、処理、印刷方法を提供します。PDL と文書形式のどちらとしても、XPSは、互換性のあるプリントデバイスと Windows Presentation Foundation (WPF) アーキテクチャー向けに書かれたソフト

ウェアが必要となります。PCL および KPD L は、XPS 環境と互換性がありません。そのため、XPS ドライバーは、単一の PDL 設定だけをサポートします。XPS ドライバーは、Product Library からインストールできます。Product Library ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。カスタムインストールページで、プリントデバイスのモデルを選択し、ドライバータブで **[KX XPS DRIVER]** を選択します。

XPS ドライバーの使用時には、一部のドライバー機能は使用できません。KX XPS DRIVER と KX Printer Driver との間では、ユーザーインターフェイスが異なる部分があります。

XPS オプション

XPS ドライバーを使用している場合、XPS オプションを選択できます。

XPS 設定ダイアログボックスでは、次のオプションを使用できます。

印刷と保存オプション

リストから、印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。保存オプションを選択すると、XPS 設定ダイアログボックスで追加オプションを選択できます。

規定のフォルダーに自動保存

XPS ファイルを自動的に規定のフォルダーに保存します。XPS ファイルを保存する場所を指定します。

日付と時間

- チェックボックスをオンにすると、同じファイル名に、ファイル保存時の日付と時間が追加されます。
- チェックボックスをオフにすると、同名のファイルがすでに存在する場合、そのファイルを上書きします。

XPS を印刷および保存する

- 1 **[デバイス設定]** > **[PDL]** で、**[XPS 設定]** をクリックします。
- 2 XPS 設定ダイアログボックスの、印刷と保存オプションで、印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。
保存オプションを選択した場合は、保存先フォルダーオプションを指定します。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 4 文書を開いて印刷します。
- 5 XPS ファイルに名前を付けて、保存します。

互換性設定

この機能を使うと、給紙元の値の設定、ソート設定のプリンタードライバー優先、および基本設定タブの給紙元と用紙種類 (メディアタイプ) リストの統合などの操作を行います。

一部のモデルでは、混在する用紙サイズの印刷の向きを揃えたり、フェイスアップ出力時の逆順印刷を無効にしたりすることもできます。

クライアント/サーバー環境では、制限されたユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

互換性設定ダイアログボックスのすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。

給紙方法の設定

給紙方法の設定は、カセットやフィーダー用の値など、プリンタードライバーに固有の給紙値との互換性をサポートします。新しくプリンタードライバーをインストールした場合でも、ドライバーの製造元には関係なく、交換したドライバーと同じ給紙サポートが保持されます。古いドライバーに給紙のマクロが残っていても、給紙値の調整が維持されるため、マクロを変更する必要はありません。

ドライバー情報ユーティリティ (\\Utility\\Driver Info\\DrvInfo.exe) を使用して、インストールされているすべてのドライバーの給紙値を比較できます。

プリンタードライバー間で指定された給紙元が異なる場合、設定値を割り当て直してドライバー間で一致するようにできます。

給紙を設定する

- 1 **【デバイス設定】 > 【互換性】** で、給紙方法の設定リストから給紙方法を選択します。現在の値は、設定値ボックスに表示されています。
- 2 **【設定値】** に値を入力して、**【適用】** をクリックします。別のドライバーと設定を合わせるには、この値を他のドライバーの値と合わせる必要があります。
- 3 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

フェイスアップ出力時に逆順出力しない

一部のモデルでは、「フェイスアップ出力時に逆順出力しない」機能を使用すると、フェイスアップ出力時に 1 ページ目が一番上に、最終ページが一番下に出力されます。

「フェイスアップ出力時の逆順出力しない」を設定する

- 1 **【デバイス設定】 > 【互換性】** で、**【フェイスアップ出力時に逆順出力しない】** を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

ドライバーのソート設定を優先する

この機能を使うと、アプリケーションのソート設定を無視し、プリンタードライバーの設定を優先させます。

- チェックボックスをオンにすると、プリンタードライバーのソート設定が使用されます。
- チェックボックスをオフにすると、アプリケーションのソート設定が使用されます。

プリンタードライバーのソート設定を優先選択する

- 1** **【デバイス設定】>【互換性】** で、**【ドライバーのソート設定を優先する】** を選択します。
- 2** すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

給紙元リストにメディアタイプも表示する

この機能を使うと、ドライバーの基本設定タブを変更して、「用紙種類」と「給紙元」を「給紙元」という名前の1つのリストに統合できます。統合されたリストでは、最初に用紙種類が表示され、次にカセットと手差しトレイが表示されます。

統合された給紙元リストを作成する

- 1** **【デバイス設定】>【互換性】** で、**【給紙元リストにメディアタイプも表示する】** を選択します。
- 2** すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

プラグインを削除する

ドライバーに設定されているプラグインを削除できます。削除すると、ドライバーのインターフェイスにプラグインの機能が表示されなくなります。



Output to PDF (PDF 作成) モジュールを削除する場合は、PDF が PDL として選択されていないことを確認してください。

- 1** デバイス設定で、ロゴまたはバージョン情報ボタンをクリックしてから、**【プラグイン】** をクリックします。
- 2** リストからプラグインモジュールを選択して、**【削除】** をクリックし、次に **【はい】** をクリックします。
- 3** すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

5 簡単設定

簡単設定タブでは、印刷ジョブに基本的な印刷設定を適用できます。簡単なユーザーインターフェイスですばやくオプションを選択できます。

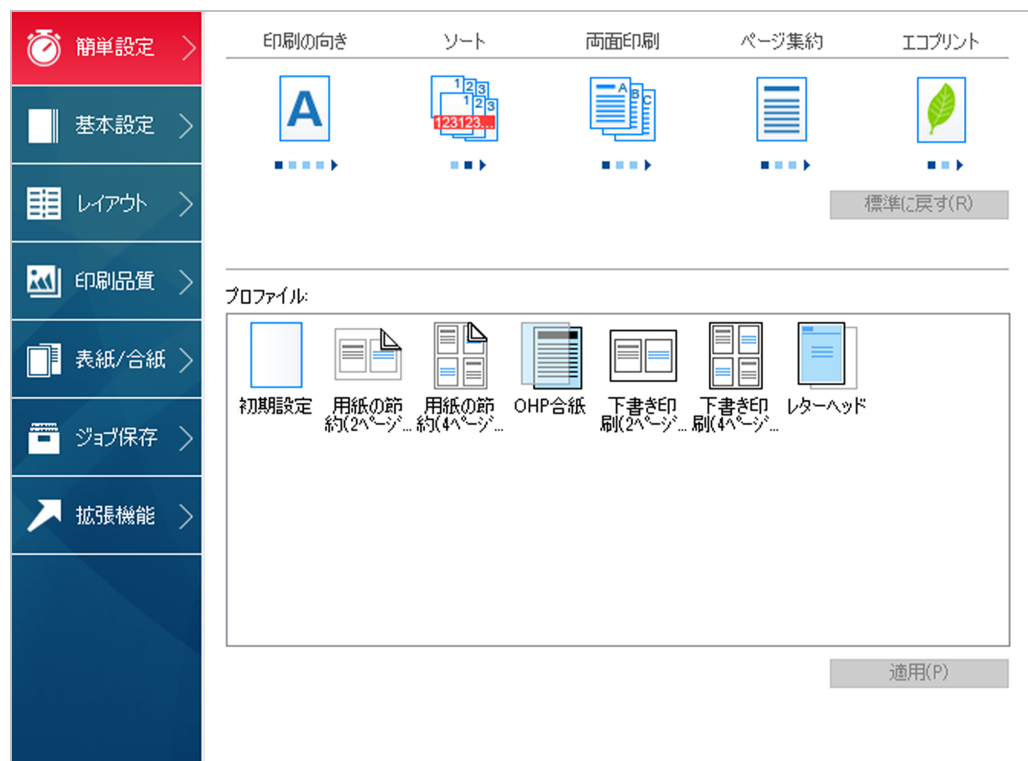
簡単設定の設定はプロファイルと呼ばれるグループとして保存し、すべての印刷ジョブに適用できます。プロファイルでは一般的な印刷タスクがサポートされています。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

簡単設定タブを表示するかどうかは、インストール中、または【デバイス設定】>【管理者設定】で管理者が設定できます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。



簡単設定オプション

簡単設定タブでは、最大 5 つの印刷オプションを設定できます。編集/追加機能を使用すると、印刷オプションの表示をカスタマイズできます。よく使う印刷ジョブを、あらかじめ定義した設定と登録されたプロファイルを選択することで印刷することもできます。

印刷の向き

この機能を使うと、印刷ジョブの用紙の向きを指定できます。【印刷の向き】アイコンを繰り返しクリックすると、印刷方向を「たて」、「よこ」、「たて (180° 回転)」、「よこ (180° 回転)」に変更できます。回転オプションは、印刷の向きを 180 度回転させます。

「印刷の向き」は、基本設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

ソート

この機能を使うと、複数部数の印刷で、印刷の順番を指定できます。

【ソート】アイコンをクリックし、オン、オフ、オン (逆順印刷)、オフ (逆順印刷) を切り替えます。逆順印刷は、一部のモデルでのみ使用可能です。

オンを選択すると、印刷ジョブがプリントデバイスに送信された後、データはページイメージとしてプリントデバイスのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回コンピューターからプリントデバイスに送信することなく、複数部数が印刷できます。

オンを選択すると、ドライバーは 1 冊分を部数分だけ印刷します (123、123)。オフを選択すると、ドライバーはページごとに部数分だけ印刷します (111、222)。たとえば、オンを選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

アプリケーションのソート設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションのソートを使用するには、デバイス設定の互換性設定ダイアログボックスで、「ドライバーのソート設定を優先する」のチェックボックスをオフにします。

一部のモデルでは、オン (逆順印刷) または オフ (逆順印刷) を選択すると、逆のページ順で印刷されます。基本設定タブの排紙先で、プリンターの設定が選択されていない場合に設定できます。一部のモデルでは、オフ (逆順印刷) は【デバイス設定】>【互換性】から無効にすることができます。

ソートは、基本設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

両面印刷

ページの両面に印刷できます。【両面印刷】アイコンを繰り返しクリックし、長辺とじ、短辺とじ、オフに変更できます。両面ユニットにより、用紙を反転させて裏面への印刷が可能です。表紙と合紙の両面に印刷するには、次のオプションのいずれかを選択します。

長辺とじ

長辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

短辺とじ

短辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

ロック設定を行う前に、両面印刷をオンにしておく必要があります。両面印刷がオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーは両面印刷が使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** で、**[両面印刷]** を選択することで、すべてのジョブを両面に印刷できます。

「両面印刷」は基本設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

ページ集約

この機能を使うと、文書のレビューや用紙節約などの目的で 1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。1 枚の用紙に印刷するページが増えるため、ページサイズが小さくなり読みやすさは低下します。**[ページ集約]** アイコンを繰り返しクリックし、1 枚の用紙に印刷するページ数を 2 ページ、4 ページ、またはオフに変更します。

この機能は、レイアウトタブで、ページ集約としても表示されます。1 シートあたりのページ数を追加したり、ページの並べ方を設定したり、または各ページの境界線を印刷したりできます。

1 シートのページ数が選択されている場合、レイアウトタブで「縮小/拡大」と「ポスター」は使用できません。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

ロック設定を行う前に、ページ集約をオンにしておく必要があります。ページ集約がオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーはページ集約が使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** の順に進み、**[ページ集約]** を選択することで、すべてのジョブをページ集約で印刷できます。

エコプリント

この機能を使うと、印刷ジョブ内のテキスト、およびグラフィックス全体を薄い濃度で印刷します。エコプリントは、印刷速度に影響しません。**[エコプリント]** アイコンをクリックし、オン/オフを切り替えます。

エコプリントは、基本設定タブと印刷品質タブにも表示されます。簡単設定、基本設定、または印刷品質タブで行った変更は、ほかのタブにも適用されます。

ロック設定を行う前に、エコプリントをオンにしておく必要があります。エコプリントがオフのままロック設定を使用した場合、すべてのユーザーがエコプリントを使用できなくなります。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** で **[エコプリント]** を選択することで、確実にすべてのジョブがエコプリントモードで印刷されるようになります。

簡単設定オプションの編集/追加

簡単設定タブ上部のアイコン群は、最も頻繁に使用する機能をまとめてカスタマイズすることができます。アイコンは 0 ～ 5 個表示できます。簡単設定タブでプリンタープロファイルのオプションだけを使用する場合、すべてのアイコンをビューから削除できます。



管理者は、**【デバイス設定】 > 【管理者設定】** で **【編集/追加ボタンを隠す】** を選択することにより、編集/追加ボタンを非表示にすることができます。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからドライバー画面にアクセスした場合は、編集/追加ボタンは表示されません。

簡単設定オプションを選択する

- 1 コントロールパネルで、**【デバイスとプリンター】** を選択します。
- 2 お使いのプリントシステムのモデルを右クリックし、**【印刷設定】** をクリックします。
- 3 **【簡単設定】** タブを選択し、**【編集/追加】** をクリックします。
- 4 簡単設定オプションの編集/追加のダイアログボックスで、簡単設定タブに機能を追加または削除します。
 - 簡単設定タブに機能を追加するには、「利用可能な機能」で機能を選択し、矢印をクリックして選択した機能に移動します。選択した機能には最大 5 つの機能を表示できます。
 - 簡単設定タブから機能を削除するには、「選択した機能」で機能を選択し、矢印をクリックして利用可能な機能に移動します。簡単設定タブでプリンタープロファイルのみを使用するには、すべての機能を「利用可能な機能」に移動します。
 - 「選択した機能」で各機能の位置を変更するには、上矢印または下矢印をクリックします。一番上の機能は簡単設定タブでは左側に表示されます。
 - リストを初期設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。
- 5 **【OK】** をクリックします。

プロファイル

この機能を使うと、プリンタードライバーの設定をプロファイルとして保存できます。簡単設定タブと印刷設定の各タブで各種設定を行い、それらをプロファイルに保存して、印刷を行う際に一括で適用することができます。プロファイルを使用すると、印刷ジョブごとに各種の印刷設定を繰り返す必要がなく、同一の印刷設定を使う印刷ジョブの実行が簡単になります。印刷設定では名前を付けて保存とプロファイルボタンが各タブの下部に表示されます。

初期設定プロファイルも含めて、1 つのドライバーに最大 26 のプロファイルを作成できます。**【デバイス設定】 > 【管理者設定】** で、初期設定プロファイルを隠すよう選択できます。デバイス設定で行った設定は、プロファイルには保存できません。

初期設定のプロファイルだけは編集できます。他のプロファイルは、削除、インポート、およびエクスポートができます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは、クライアントプロファイルとサーバープロファイルのどちらかを選択できます。クライアントは、サーバーで作成されたデフォルトのプロファイルに自動的に設定されます。拡張機能タブで、**【クライアント・プロファイルを有効にする】**チェックボックスをオンまたはオフにします。

プロファイルを選択する

- 1 次のいずれかを行います。
 - 簡単設定タブで、プロファイルを選択します。
 - 印刷設定のいずれかのタブで、**【プロファイル】**をクリックし、続けてプロファイルを選択します。

選択されたプロファイルの設定内容が下の設定リストに表示されます。

- 2 **【適用】**をクリックし、続けて **【OK】** をクリックします。

プロファイルを保存する

- 1 印刷設定を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。
- 2 任意のタブで、次のいずれかを実行します。
 - **【名前を付けて保存】** をクリックします。
 - **【プロファイル】** をクリックし、続けて **【追加】** をクリックします。
- 3 プロファイルを識別するため、名称を入力し、アイコンを選択して、コメントを入力します。
- 4 **【OK】** をクリックします。

プロファイルダイアログボックスと簡単設定タブに、新しく追加したプロファイルが表示されます。



プリンタードライバーを初期設定にリセットするには、初期設定プロファイルを選択し、**【適用】** をクリックします。

初期設定プロファイルを編集する

- 1 任意のタブで **【プロファイル】** をクリックします。
- 2 「プロファイルの選択」セクションで、初期設定プロファイルを選択し、**【編集】** をクリックします。
- 3 **【名称】**、**【アイコン】**、および **【コメント】** のオプションを編集できます。

- 4 **[OK]** をクリックして変更を保存します。

プロファイルダイアログボックスと簡単設定タブに、編集されたプロファイルが表示されます。

- 5 **[適用]** をクリックして選択した初期設定プロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**[OK]** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プロファイルを削除する

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 プロファイルの選択で、削除するプロファイルを選択し、**[削除]** をクリックします。
- 3 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **[はい]** をクリックします。
- 4 **[閉じる]** をクリックしてプロファイルダイアログボックスを閉じます。

プロファイルをインポートする

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックして、次に **[インポート]** をクリックします。
- 2 既存プロファイル (.KXP) を選択し、**[開く]** をクリックします。
インポートされたファイルの中に、既存のドライバーでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合は、メッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには **[はい]** を、インポートをキャンセルするには **[いいえ]** をクリックします。
「はい」を選択すると、プロファイルダイアログボックスに新しくインポートしたプロファイルが表示されます。
- 3 **[適用]** をクリックして、選択したプロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**[OK]** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
新しく追加したプロファイルが、簡単設定タブに表示されます。

プロファイルをエクスポートする

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 プロファイルの選択で、エクスポートするプロファイルを選択し、**[エクスポート]** をクリックします。
- 3 「プロファイルのエクスポート」ダイアログボックスで、プロファイルに名前を付けて保存します。
- 4 **[OK]** をクリックして「プロファイル」ダイアログボックスを閉じます。

アプリケーション別の印刷設定

この機能を使うと、管理者は、プロファイルをアプリケーションと関連付け、そのアプリケーションからのすべての印刷に同一のプロファイル設定を適用できます。これによりプロファイルが一層使いやすくなり、アプリケーションからの印刷の一貫性が保証されます。たとえば、用紙を節約するために両面印刷プロファイルをすべてのスプレッドシートに適用することや、Microsoft Word によるレポート印刷に対して、同一のステープルや一貫した印刷品質を設定できます。

アプリケーション別の印刷設定ダイアログボックス (プロファイルダイアログボックスからアクセスできます) で、いつでもプロファイルとアプリケーションを関連付けることができます。最大 25 のアプリケーション別の印刷設定を作成できます。アプリケーションを使用して印刷するには、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [一般]** で **[アプリケーション別の印刷設定を有効にする]** をクリックします。

クライアント/サーバー環境で、クライアントコンピューターのユーザーは、サーバー上のアプリケーション印刷設定の詳細を確認できますが、設定の変更や別のプロファイルの選択はできません。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** で、**[アプリケーション別の印刷設定]** を選択することで、アプリケーションからのすべてのジョブに関連付けられたプロファイル設定を適用できます。

アプリケーション印刷設定を追加する

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 プロファイルダイアログボックスで、**[アプリケーション]** をクリックします。
- 3 アプリケーション別の印刷設定ダイアログボックスで **[追加]** をクリックします。
- 4 アプリケーション印刷設定の追加ダイアログボックスに、アプリケーション印刷設定の名前を入力します。
- 5 「アプリケーションを選択してください」で、次のいずれかの方法に従ってアプリケーションを選択します。
 - **[アプリケーション名]** を選択し、リストに登録されているアプリケーションを選択します。
 - **[ファイル名]** を選択し、印刷可能なアプリケーションの実行ファイル名 (.EXE) を入力するか、**[参照]** をクリックしてコンピューター上にあるファイルを検索します。
- 6 「プロファイルを選択してください」で、リストからプロファイルを選択します。
- 7 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

アプリケーション印刷設定を削除する

- 1 任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。

- 2 プロファイルダイアログボックスで、**【アプリケーション】**をクリックします。
- 3 アプリケーション別の印刷設定ダイアログボックスで、削除するアプリケーション印刷設定を選択し、**【削除】**をクリックします。
- 4 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **【OK】** をクリックします。
- 5 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

アプリケーション印刷設定を編集する

- 1 任意のタブで **【プロファイル】** をクリックします。
- 2 プロファイルダイアログボックスで、**【アプリケーション】** をクリックします。
- 3 アプリケーション別の印刷設定ダイアログボックスで、編集するアプリケーション印刷設定を選択し、**【編集】** をクリックします。
- 4 アプリケーション印刷設定の編集ダイアログボックスで、「設定名称」、「アプリケーションを選択してください」、または「プロファイルを選択してください」で設定を変更します。
- 5 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

6 基本設定

基本設定タブでは、最もよく使うプリンタードライバーの設定を指定できます。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

出力用紙サイズ

この機能を使うと、文書を出力する用紙のサイズを選択できます。この設定を使用する際は、原稿サイズの設定がアプリケーションで設定されている原稿サイズと一致していることを確認してください。出力用紙サイズがアプリケーションの原稿サイズと異なると、各ページは出力用紙サイズと一致させるために拡大または縮小されます。

カッコ内の数値 (%) は、原稿用紙サイズに対する出力用紙サイズの比率です。

出力用紙サイズで封筒またははがき/往復はがきなどの日本標準の用紙サイズが選択されている場合、メッセージが表示され、用紙種類が自動的に選択されます。

原稿サイズ

この機能を使うと、アプリケーション内の原稿サイズを選択できます。選択すると、出力用紙サイズリストは、原稿サイズに対する出力用紙サイズの比率を示します。



一部のモデルでは、大きな用紙サイズ (A0、A1、A2、B1、B2、B3) を選択した場合、縮小・拡大率は 20% 未満となる場合があります。印刷結果は保証されないことを示すメッセージが表示されます。レイアウトタブのポスター機能は、大きな用紙サイズでは使用できません。

標準サイズ以外の不定形サイズの用紙に印刷することもできます。カスタム用紙サイズとして、原稿サイズおよび出力用紙サイズリストに保存しておく、後でそのサイズを選択できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは、クライアントのカスタム原稿サイズとサーバーのカスタム原稿サイズのどちらかを選択できます。拡張機能タブで、【クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする】チェックボックスをオンまたはオフにします。

原稿サイズダイアログボックスには、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。単位の設定は、【デバイス設定】>【ユーザー】のユーザー設定ダイアログボックスで変更できます。クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターで単位の設定は使用できません。

カスタム用紙サイズを作成する

- 1 基本設定タブで、【原稿サイズ】をクリックします。
- 2 原稿サイズダイアログボックスで、【新規】をクリックします。
- 3 名称ボックスに、デフォルトのカスタムサイズ名が表示されます。カスタム用紙サイズ名を入力します。
- 4 短辺および長辺の値を入力または選択します。入力した値が制限値を超えた場合、値が自動的に制限値に調整されます。
- 5 完了したら、【追加】をクリックします。
- 6 【OK】をクリックして原稿サイズダイアログボックスを閉じます。

出力用紙サイズのリストにカスタム用紙サイズが表示され、これは出力サイズを拡大または縮小するために使用されます。

カスタム用紙サイズを削除する

- 1 基本設定タブで、【原稿サイズ】をクリックします。
- 2 原稿サイズダイアログボックスで、削除するカスタムサイズを選択します。
- 3 【削除】をクリックします。

- 4 **[OK]** をクリックして原稿サイズダイアログボックスを閉じます。

カスタム用紙サイズを使用して印刷する

- 1 カスタムサイズの用紙を手差しトレイに入れます。
- 2 基本設定タブで、出力用紙サイズリストのカスタム用紙サイズ名を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

使用状況でリスト

頻繁に使用する出力用紙サイズと原稿サイズのリストを表示できます。印刷に頻繁に使用するサイズはリストの上部に表示されます。優先される出力用紙サイズと原稿サイズはプリンタードライバーによって決定されます。用紙が混在する文書の場合、ドライバーは文書の最初のページだけを判断に使用します。出力用紙サイズと原稿サイズの並び順をリセットするには、**【使用状況でリスト】**のチェックボックスをオフにします。



カスタム用紙サイズは、出力用紙サイズと原稿サイズのソートには含まれません。

給紙元

この機能を使うと、印刷ジョブに給紙するトレイまたはカセットを指定できます。デフォルト設定は自動選択で、プリンターはアプリケーションまたはプリンタードライバーから要求された用紙を検索します。印刷中選択したトレイまたはカセットが用紙切れとなった場合、プリンターは他の給紙元を選択し、印刷を続行します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙種類は、手差しトレイから給紙する必要があります。プリントデバイスの『使用説明書』の指示に従って、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。



ダイアログボックスでは、給紙元と用紙種類は異なる項目となっていますが、**【デバイス設定】>【互換性】**の給紙元リストに用紙種類も表示するを使用すると、1項目として設定することができます。この場合、基本設定タブの用紙種類は使用できず、給紙元リストから用紙種類を選択します。

用紙種類

この機能を使うと、用紙種類を選択できます。選択した用紙が印刷ジョブに使用されます。選択可能な用紙の種類は給紙元の選択によって異なります。デフォルト設定は指定なしに設定されており、給紙元が用紙切れとなっても他の給紙元に切り替わりません。**【自動選択】**を選択した場合、プリンターは指定と同一の種類とサイズの用紙が給紙されているカセットまたはトレイを選択します。

出力用紙サイズで封筒またははがき/往復はがきなどの日本標準の用紙サイズが選択されている場合、メッセージが表示され、用紙種類が自動的に選択されます。

プリントデバイスからカスタム用紙種類名を表示できます。プリントデバイスで名前が変更された場合は、新しい名前がデフォルト名に替わり表示されます。プリントデバイス名を表示するには、デバイス設定の自動設定を使用します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙種類は、手差しトレイから給紙する必要があります。プリントデバイスの『使用説明書』の指示に従って、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。

この機能を使うと、用紙種類リストから【封筒】を選択して、封筒に印刷できます。一部のモデルでは、ジョブが印刷用に送られると、メッセージが表示されます。封筒への印刷については、プリントデバイスの『使用説明書』で、プリンターモデル特定の指示に従ってください。印刷終了後は、スイッチを元の位置に戻してください。



ダイアログボックスでは、給紙元と用紙種類は個別の項目ですが、【デバイス設定】>【互換性】の「給紙元リストに用紙種類も表示する」を使用すると、1項目として設定できます。この場合、基本設定タブの用紙種類は使用できず、給紙元リストから用紙種類を選択します。

排紙先

この機能を使うと、印刷ジョブの出力先の排紙トレイを指定できます。

部数

この機能を使うと、印刷する部数を指定できます。最大 999 部印刷できます。モデルによっては、最大 9999 部印刷できます。

カーボンコピー

この機能を使うと、別のトレイやカセットから給紙した用紙を使用して、追加の印刷を行えます。この機能は、請求書のような文書を、異なるカラー用紙または用紙の種類で印刷する場合に便利です。カーボンコピーは、最大枚数まで設定して印刷できます。

拡張機能タブのプロログ/エピログ機能を使用して、それぞれのカーボンコピーにロゴや見出しを追加することもできます。

カーボンコピーを選択した場合、一括コピー、レイアウトタブの製本、および表紙/合紙タブにあるすべての機能は使用できませんのでご注意ください。

また、【デバイス設定】>【管理者設定】>【Net Manager】で、Net Manager が選択されている場合、カーボンコピーは使用できません。

カーボンコピーを印刷する

- 1 基本設定タブで、給紙元と原稿の印刷部数を選択します。
- 2 カーボンコピーを行うために、各給紙元にカラー用紙など任意の種類の用紙をセットします。
- 3 【カーボンコピー】チェックボックスをオンにします。

- 4 **【設定】**をクリックします。
- 5 カーボンコピー設定ダイアログボックスで、各給紙元の印刷部数を選択します。
すべての給紙元からの合計印刷部数が、合計に表示されます。
- 6 各カーボンコピーの **【給紙元】**、**【用紙種類】**、あるいは両方を選択します。
- 7 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

一括コピー

この機能を使うと、印刷ジョブをバッチに分けて印刷できます。バッチごとに部数を選択できます。この機能を使用するには、ストレージデバイスを装着する必要があります。

バッチごとに印刷ジョブに名前を付け、その設定を保存して後で使用できます。これは、一括コピー設定をエクスポートまたはインポートする際に便利です。

それぞれのバッチに表紙を追加したり、必要に応じてジョブ名とタイトルを追加して印刷したりすることもできます。表紙には、本文ページとは違う用紙サイズ、用紙種類、印刷の向きを選択することもできます。用紙サイズ、用紙種類、および給紙元の設定は、基本設定タブの設定と異なっていてもかまいません。**【デバイス設定】 > 【管理者設定】**で、ユーザー管理または部門管理が選択されている場合は、表紙を追加することはできません。

この機能を使用すると、簡単設定および基本設定タブのソート機能が自動的にオンに設定されます。クイックコピーを使用する場合は、ストレージデバイスに保存されるバッチは1つだけで、バッチの表紙は保存も印刷もされません。



一括コピーは、PCL XL または PCL 5c/5e が PDL として選択されている場合に使用できます。この機能は、部数およびカーボンコピーとは併用できません。

また、一括コピーは、Net Manager との併用もできません。

一括コピーで印刷する

- 1 基本設定タブで、**【一括コピー】**を選択します。
- 2 **【設定】**をクリックします。
- 3 一括コピー設定ダイアログボックスで、**【新規】**をクリックして、バッチをリストに追加します。
- 4 部数には、選択されたバッチのコピー枚数を入力します。
- 5 すべてのバッチに表紙を追加するには、**【一括コピーの表紙を印刷】**を選択して、表紙のオプションを選択します。

- すべてのバッチの表紙にジョブ名を印刷したい場合は、【一括コピーのジョブ名】に任意の文字を入力します。
- それぞれのバッチのタイトルを印刷したい場合は、【一括コピーの表紙タイトル】に任意の文字を入力します。
- 出力用紙サイズ、給紙元、用紙種類、および印刷の向きのオプションを選択します。設定内容を変更すると、変更による互換性を保つため、他の選択も調整されることに注意してください。

6 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

リストからバッチを選択し、**[削除]** をクリックするとバッチを削除できます。

[インポート] をクリックすると、コンピューターまたはネットワークから有効なバッチファイル (.BCI) を検索してインポートできます。

[エクスポート] をクリックすると、コンピューターまたはネットワークの任意の場所に、設定したリスト (.BCI) を保存できます。保存されたリストは他のプリンタードライバーにインポートできます。

ソート

この機能を使うと、複数部数の印刷で印刷の順番を指定できます。

[ソート] アイコンをクリックし、オン、オフ、オン (逆順印刷)、オフ (逆順印刷) を切り替えます。逆順印刷は、一部のモデルでのみ使用可能です。

オンを選択すると、印刷ジョブがプリントデバイスに送信された後、データはページイメージとしてプリントデバイスのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回コンピューターからプリントデバイスに送信することなく、複数部数が印刷できます。

オンを選択すると、ドライバーは 1 冊分を部数分だけ印刷します (123、123)。オフを選択すると、ドライバーはページごとに部数分だけ印刷します (111、222)。たとえば、オンを選択し、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

アプリケーションのソート設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションのソートを使用するには、デバイス設定の互換性設定ダイアログボックスで、「ドライバーのソート設定を優先する」のチェックボックスをオフにします。

一部のモデルでは、オン (逆順印刷) または オフ (逆順印刷) を選択すると、逆のページ順で印刷されます。基本設定タブの排紙先で、プリンターの設定が選択されていない場合に設定できます。一部のモデルでは、オフ (逆順印刷) は **[デバイス設定] > [互換性]** から無効にすることができます。

ソートは簡単設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

文書をソートする

1 基本設定タブで、**[ソート]** をオンにします。

2 部数ボックスで、印刷ジョブの部数を入力するか、または選択します。

3 **[OK]** をクリックします。

印刷の向き

この機能を使うと、印刷ジョブの用紙の向きを指定できます。**【たて】**、**【よこ】**、**【たて (180°回転)】**、**【よこ (180°回転)】** のいずれかのアイコンをクリックします。回転オプションを選択すると、印刷ジョブの向きが **180 度** 回転します。

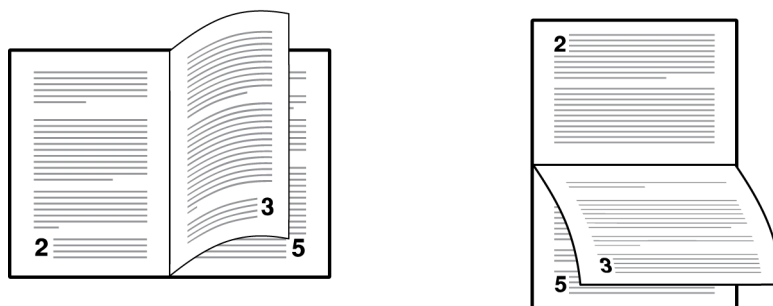
「印刷の向き」は簡単設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのいずれかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

両面印刷

この機能を使うと、ページの両面に印刷できます。両面ユニットにより、用紙を反転させて裏面への印刷が可能です。表紙と合紙の両面に印刷するには、次のオプションのいずれかを選択します。

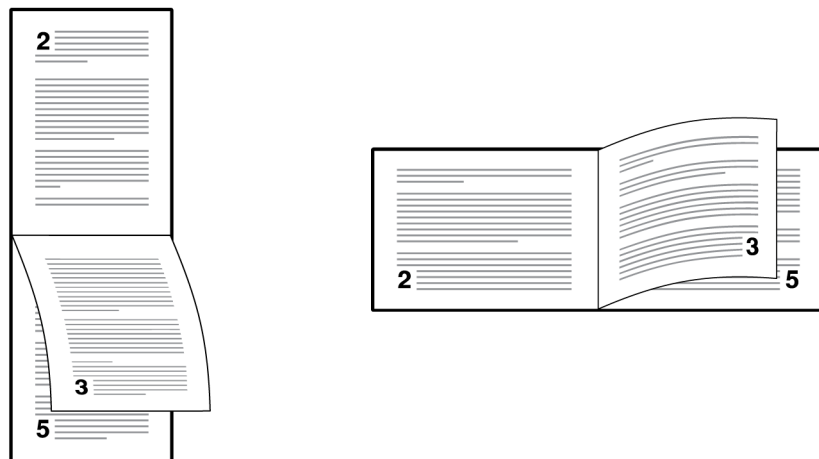
長辺とじ

長辺を軸にして開くように見る場合に選択します。



短辺とじ

短辺を軸にして開くように見る場合に選択します。



ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

「両面印刷」は簡単設定タブにも表示されます。簡単設定または基本設定タブのどちらかで行った変更は、もう一方のタブにも適用されます。

ロック設定を行う前に、両面印刷をオンにしておく必要があります。両面印刷がオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーは両面印刷が使用できなくなります。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** で、**[両面印刷]** を選択することで、すべてのジョブを両面に印刷できます。

両面印刷モードで印刷する

- 1 基本設定タブで、**[長辺とじ]** または **[短辺とじ]** のいずれかのアイコンをクリックします。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

エコプリント

この機能を使うと、印刷ジョブ内の画像、テキスト、およびグラフィック全体を、薄い濃度で印刷できます。エコプリントは、印刷速度に影響しません。

エコプリントは、簡単設定タブと印刷品質タブにも表示されます。簡単設定、基本設定、または印刷品質タブで行った変更は、ほかのタブにも適用されます。

ロック設定を行う前に、エコプリントをオンにしておく必要があります。エコプリントがオフのままロック設定を使用した場合、すべてのユーザーがエコプリントを使用できなくなります。

管理者は、

[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] で **[エコプリント]** を選択することで、すべてのジョブをエコプリントモードで印刷できます。

エコプリントを選択する

- 1 基本設定タブで、エコプリントのオン/オフを設定します。
エコプリントがオンの場合、一部のモデルではトナーの節約量を選択できます。
- 2 **[OK]** をクリックします。

7 レイアウト

レイアウトタブでは、元の文書のレイアウトを変更することなく、さまざまなレイアウトで印刷できます。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

ページ集約

この機能を使うと、文書のレビューや用紙節約などの目的で1枚の用紙に複数のページを印刷できます。1枚の用紙に印刷するページが増えるため、ページサイズが小さくなり読みやすさは低下します。レイアウトタブで、各ページの境界線の印刷と、ページの並べ方を設定できます。

この機能は、簡単設定タブのページ集約にも表示され、2ページ/シート、4ページ/シート、またはオフを選択できます。

ページ集約が選択された場合、「縮小/拡大」と「ポスター」は使用できません。

ドキュメントが白紙ページを含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]** で、**[オン]** を選択します。印刷ジョブに白紙ページを含める場合は、**[オフ]** または **[レイアウト設定を使用]** を選択します。

ロック設定を行う前に、ページ集約をオンにしておく必要があります。ページ集約がオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーはページ集約が使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定]** の順に進み、**[ページ集約]** を選択することで、すべてのジョブをページ集約で印刷できます。

ページ集約印刷する

- 1 レイアウトタブで、**[ページ集約]** アイコンをクリックします。
- 2 1 シートのページ数リストで、1 枚の用紙に印刷するページ数を指定します。
- 3 レイアウト (順序) リストから、ページを並べる方向を選択します。
- 4 各ページの境界線を印刷するには **[境界線を印刷]** をオンにします。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

縮小/拡大

この機能を使うと、テキストやグラフィックを含むページを拡大または縮小して印刷します。

また、とじしろ設定を選択すると、ステープルや穴あけを行うために、とじしろを広げることができます。

レイアウトタブの他のオプションが選択されている場合、縮小/拡大は使用できません。

ページ内での縮小/拡大を設定する

- 1 レイアウトタブで、**20～500%** の範囲で比率を入力または選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

とじしろ設定

この機能を使うと、用紙左側および上側のマージン (余白) が拡大されます。とじしろ設定は、印刷文書をステープルでとじたり、穴あけを行ったりする際に、読みやすくするためによく使用されます。印刷領域を右または下にずらし、余白を広くとることができます (最大 **25.4mm**)。

とじしろの幅には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。単位の設定は、**[デバイス設定] > [ユーザー]** のユーザー設定ダイアログボックスで変更できま

す。クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターで単位の設定は使用できません。



とじしろ設定は、PDL が PDF に設定されている場合に使用できます。

とじしろを作成する

- 1 レイアウトタブで、**【とじしろ設定】**をクリックします。
- 2 とじしろの幅で、**5.0 から 25.4 mm (0.20 から 1.00 インチ)** の範囲で値を入力するか選択します。

短辺とじ (上)

選択すると、ページ上部の外側のマージンを変更できます。

長辺とじ (左)

選択すると、ページ左側の外側のマージンを変更できます。



とじしろ設定が使用できるかどうかは、基本設定タブの「印刷の向き」と「両面印刷」設定によって異なります。

- 3 印刷内容が用紙の端に寄りすぎる場合は、**【ページに合わせて縮小する】**を選択します。印刷内容は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。
とじしろを増やしてもページからはみ出ない場合は**【ページに合わせて縮小する】**をオフにします。
- 4 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

ポスター

この機能を使うと、プリントデバイスで印刷可能な用紙サイズよりも大きなサイズの文書を印刷できます。元の大きさの最大 **25 倍** の大きさの、ポスターやバナーを印刷できます。ポスター文書は分割されて複数枚の用紙に印刷され、ポスター設定の機能を使って再びこれらの用紙を集めることにより、簡単にポスターを作成できます。

ポスターを選択した場合、レイアウトタブの他のオプションは選択できません。

分割ページ数

元の文書サイズに対応するポスターのサイズを選択します。各オプションには印刷されるページ数と最大ポスターサイズが表示されます。

分割ページ数には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。単位の設定は、**【デバイス設定】 > 【ユーザー】** のユーザー設定ダイアログボックスで変更できます。クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピューターで単位の設定は使用できません。

印刷条件

印刷されたポスター用紙をどのようにつなぎ合わせるかを見るために、テスト印刷ができます。

ポスター

指定した枚数に実際に分割して印刷します。

テスト印刷

すべてのポスターページを 1 枚の用紙に印刷して、どのように仕上がるかを表示します。

ポスター + テスト印刷

すべてのポスター用紙の印刷 (ポスター) と 1 枚のテスト印刷の両方を実行します。

ポスター設定

ポスターの作成に最も便利のように、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションは、ポスター印刷された用紙に、ページの裁ち落としやつなぎ合わせに便利なガイドラインを印刷します。

のりしろ幅

隣り合う用紙の端をオーバーラップさせて印刷する機能です。このように端をオーバーラップさせて印刷すると、ポスターの見栄えがよくなります。チェックボックスをオンにして、のりしろ幅を 0.0 から 30.4 mm (0.00 から 1.20 インチ) の範囲で入力または選択します。この機能を使用すると、最終的なポスターのサイズが若干小さくなりますのでご注意ください。

枠線を印刷

ポスター用紙の端を示す枠線を印刷します。用紙をつなぎ合わせる前に、枠線から外側を切り落しできます。これによって、隣り合う用紙どうしの印刷内容が正確につながります。

つなぎ目の番号を印刷

各用紙の端に番号を印刷し、隣り合う用紙と用紙を番号で合わせます。同じ番号の用紙の端を重ね合わせて完成させます。

ポスターを印刷する

- 1 レイアウトタブで、**【ポスター】**アイコンをクリックします。
- 2 「分割ページ数」で、ポスターのサイズを選択します。各オプションには、仕上りを 1 枚の用紙に収めるために分割が必要な枚数が表示されます。
- 3 印刷条件で、仕上がり印刷条件のオプションを 1 つ選択します。
- 4 **【ポスター設定】**をクリックし、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションを使用すると、ポスターを作成するためのより詳細な設定が行えます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

製本

この機能を使うと、1 枚の用紙に 2 ページのレイアウトで両面印刷できます。一部のモデルでは、ブックレットを用紙の中央で 2 つに折りたたみ、とじることができます。折りたたんだブックレットは、選択した用紙の半分のサイズになります。

製本設定ダイアログボックスでは、製本印刷のその他のオプションを使用できます。

レイアウト

次の製本レイアウト設定から選択できます。

ドライバー側で作成

ページの順序や 1 枚あたりのページ数設定を、ドライバー設定を使って行います。このオプションは、製本のレイアウトがアプリケーションで作成されていない場合に選択します。

アプリケーション側で作成

ページの順序や 1 枚あたりのページ数の設定を、アプリケーション設定を使って行います。このオプションは、製本のレイアウトがアプリケーションで作成されている場合に選択します。

中とじ・折り設定

中折りユニットの装着時には、次の設定から選択できます。それ以外の場合、自動的に「なし」が選択されます。

なし

ステープルと中折りなしでブックレットを印刷します。

中とじ

ブックレットを印刷し、ステープルと中折りをします。

折りのみ

ブックレットを印刷し、ステープルなしで中折りします。

ステープルまたは中折りオプションを選択した場合には、ブックレットの折りの枚数を選択します。

自動

中とじ・折り設定の選択に応じて、文書ページを均等に分けて 1 冊以上のブックレットに印刷します。中折りユニットをサポートしていないモデルでは、文書の全ページを 1 冊のブックレットに印刷できます。

選択した枚数

各ブックレットの選択された「折りの枚数」まで、文書ページを分けてブックレットに印刷します。印刷する枚数が折りの枚数の倍数でない場合、最後に印刷されるブックレットの枚数が選択した枚数よりも少なくなる場合があります。

製本を選択した場合、レイアウトタブの他のオプションは選択できません。

ブックレットの表紙には別の給紙元を選択できます。ブックレットに表紙を含めるには、**【表紙/合紙】** タブで、**【表紙付け】** を選択します。

ドキュメントが白紙を含み、印刷ジョブにそれらを含めたくない場合、**[PDL (ページ記述言語)] > [白紙ページをスキップ]**を選択し、**[オン]**または**[レイアウト設定を使用]**を選択します。

ブックレットを印刷する

- 1** レイアウトタブで、次の2つのとじオプションのいずれかのアイコンをクリックします。

左とじ
左から右に読む文書を印刷する場合に選択します。

右とじ
右から左に読む文書を印刷する場合に選択します。
- 2** 追加オプションを設定するには、**[製本設定]**をクリックします。
- 3** 使用可能なレイアウトオプションから選択します。
- 4** すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

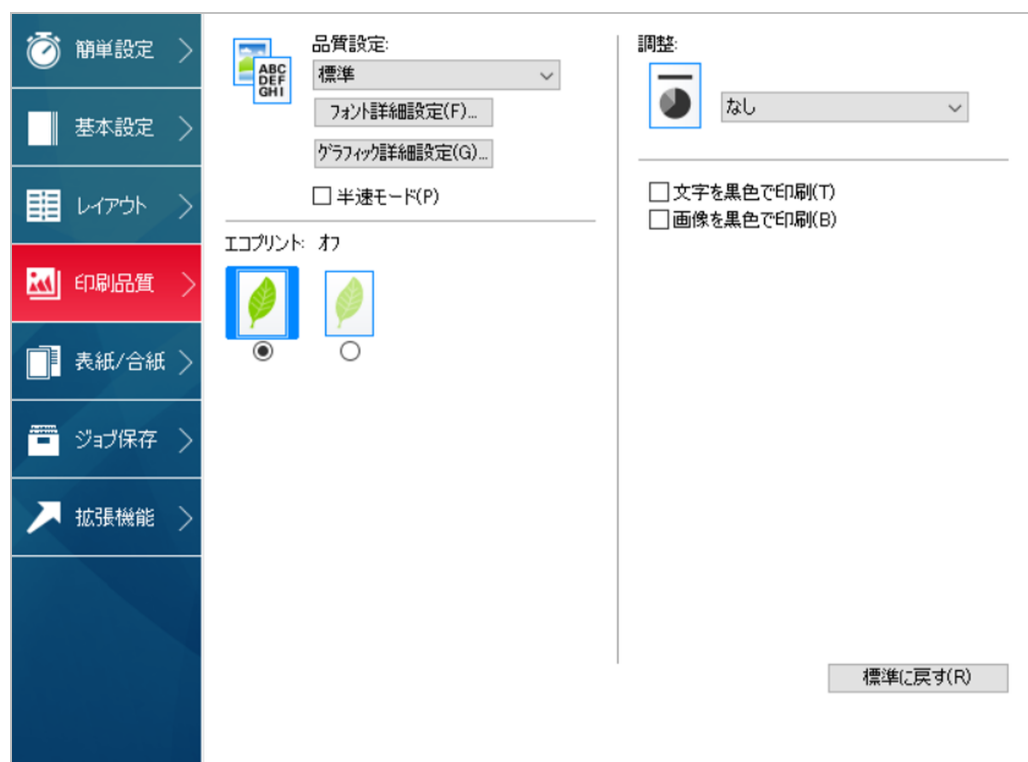
8 印刷品質

印刷品質タブでは、印刷の品質およびグレースケール設定を管理できます。

既定の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。



印刷品質とカスタム品質

この機能を使うと、印刷ジョブの解像度を設定できます。解像度とは、印刷されるテキストや画像の画質や鮮明度を、1インチあたりのドット数 (dpi) で表したものです。カスタム品質の設定では、より精度の高い解像度を印刷ジョブに設定できます。「半速モード」を使用すると、印刷速度を遅くして、小さめの用紙または厚紙での印刷品質を向上できます。

印刷品質の選択

印刷品質タブで、リストから品質設定を選択します。

高品質、標準、エコプリント

印刷の解像度を、高と低のどちらで印刷するかを選択します。「標準」は、PDL (ページ記述言語) ダイアログボックスで **PCL 5c/5e** が選択されている場合は使用できません。

ユーザー定義

「ユーザー定義」をクリックすると、カスタム品質の設定ダイアログボックスが開きます。プリントデバイスのモデルによっては、解像度を **Fine 1200**、**Fast 1200**、**600 dpi**、または **300 dpi** に設定できます。**KIR** (スムージング) は、テキストとベクトルグラフィックの輪郭を滑らかにする機能で、オンまたはオフに設定できます。

フォント詳細設定

フォントは、書体デザインの同じ文字や記号などを一そろい含むデータファイルです。フォントの一般的な用語は次のとおりです。

アウトラインフォント

ビットマップフォントとは対照的に、アウトラインフォントは、数学的な線および曲線として定義されます。アウトラインフォントは、(ポイントサイズにかかわらず、ゆがみなく表示および印刷が可能のため) ビットマップフォントと異なり任意に拡大縮小が可能です。

ビットマップフォント

ビットマップフォントは、各文字をピクセル (画像を構成する最小単位のドット) の組み合わせで表現するフォントです。ビットマップフォントは、拡大または縮小を行うと、ゆがみが発生します。

ネイティブフォント

ネイティブフォントは、コンピューターのオペレーティングシステムにインストールされている、基本的なフォントです。**TrueType** フォントは、**Microsoft Windows** で使用されるネイティブフォントです。

TrueType フォント

TrueType フォントは、拡大縮小可能なアウトラインフォントの 1 つです。**TrueType** は、**Microsoft Windows** で最も多用されている汎用的なフォント形式です。

システムフォント

システムフォントは、オペレーティングシステムで使用される基本のフォントです。システムフォントは通常、アプリケーションインターフェイス、または一般的なフォントダイアログボックスを介して使用されます。

デバイスフォント

デバイスフォントは、プリントデバイスメモリーに恒久的または一時的に保存されています。

フォント詳細設定オプション

フォント詳細設定ダイアログボックスでは、**TrueType** フォントのプリントデバイスへの送信方法を選択します。選択した方法は、印刷ジョブの速度と品質に影響を与えます。

TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロード

この方法は、複数の異なるフォントやフォントサイズを使用する大きな文書や印刷ジョブに最適です。この設定の最適化機能により印刷の速度も速くなります。同じフォントデータを繰り返しプリントデバイスに送信する回数が減ることによって印刷速度が速くなります。日本語、中国語、韓国語などのアジア言語は、これらの特定のフォントに対して大量の情報が使用されているため、印刷速度は速くなりません。

Type42 フォント送信モード

この方法は、**TrueType** フォントを **Adobe Type 42** フォント形式に変換することによって、テキストの印刷品質を改良し、印刷速度を上げます。この機能は、**KPDL** が **PDL** として選択されている場合に使用できます。

TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロード

ビットマップとしてフォントをダウンロードすると、より詳細になりますが、ファイルのサイズは非常に大きくなります。これは、ユーザー定義フォント、非常に小さいフォント (ポイントサイズ 1 - 4)、またはアジアンフォントなどを使用している印刷ジョブに最適です。

プリンターフォントに代替える

フォントの代替えは、プリントデバイスで目的のフォントが使用できない場合に、代わりのフォントを使用する機能です。フォントの代替えは、フォントを多数内蔵していないプリントデバイスに文書を送信する場合に重要な機能です。代替えには標準 **PostScript** フォントを使用できます。



GDI 互換性モードは、この方法をサポートしていません。

プリンターフォントを使用しない

TrueType フォントを、アウトラインフォントまたはビットマップフォントとして送信しても、プリントデバイスのフォントと置き換えられることがあります。**TrueType** フォントを、プリントデバイスのフォントと代替えしないようにするには、「プリンターフォントを使用しない」を選択します。

このオプションによって印刷可能データの可搬性も向上します。このオプションをオフにすると、異なるプリントデバイスに送信した場合、プリンターフォントは一致しません。

一部の **Adobe** アプリケーションでは、プリンターフォントの使用に制限がある場合があります。これらの制限を回避するには、**【プリンターフォントを使用しない】**を選択します。プリンターフォントは、コンピューター側に同等の **TrueType** フォント (**TrueType** アイコンで表示) が存在しない場合、アプリケーション内のフォント一覧などではフォント名の横にプリンターアイコンが表示されて区別されます。

フォント詳細設定を選択する

- 1 **【印刷品質】>【フォント詳細設定】**で、いずれかの **TrueType** フォントの送信方法を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

フォント代換えを設定する

「フォントの代換え」を設定するには、印刷ジョブを作成しているアプリケーションではなく、次の手順で印刷設定を開く必要があります。

- 1 コントロールパネルで、**【デバイスとプリンター】**を選択します。
- 2 お使いのプリントシステムのモデルを右クリックし、**【印刷設定】**を選択します。
- 3 印刷品質タブで、次の順に進みます。
【フォント詳細設定】>【プリンターフォントに代換えする】>【フォントの代換え】
- 4 「フォントの代換え」ダイアログボックスのシステムフォントリストには、コンピューターにインストールされているフォントが表示されます。「使用可能プリンターフォント」リストには、プリントデバイスのフォントが表示されます。
- 5 システムフォントを選択し、それに代換えするプリンターフォントを選択します。
- 6 **【標準に戻す】**をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 6 **【OK】**をクリックします。

システムフォントと類似するフォントがプリンターフォントに存在しない場合、文書内の文字間隔などが正しく表示されない場合があります。

プリンターフォントを無効にする

- 1 **【印刷品質】>【フォント詳細設定】**で、**【プリンターフォントを使用しない】**チェックボックスをオンにします。
- 2 **【OK】**をクリックして、設定内容を保存します。

グラフィック詳細設定

グラフィックは、情報を画像で表したものです。グラフィックを使ってチャートやダイアグラムなどの機能的な情報を表示したり、描画や写真などのアートを表示したりできます。グラフィック詳細設定では、選択した **PDL (ページ記述言語)**で設定可能なオプションを使って、印刷したグラフィックの視覚的な結果を調整できます。

パターンスケーリング

この機能を使うと、モニター表示と印刷出力間の見た目を極力一致させることができます。図形やパスなどのグラフィックのオブジェクトには、ドットで構成されるパターンや塗りつぶし (フィル) オブジェクトが含まれます。

- パターンとは、規則的または不規則的に反復された色や図形、線、値、背景から構成され、視覚的な配列を作り出します。
- フィルとは、色または階調によってオブジェクトを塗りつぶすものです。

印刷されたパターンやフィルが画面の表示と一致しない場合、**【パターンスケーリング】**を使用して、他のドット密度を使用してみてください。**【印刷品質】 > 【グラフィックス詳細設定】**で、パターンスケーリング設定を選択します。

自動

この設定は画面の表示に最も近いパターンおよびフィルで印刷します。

粗い

この設定は、パターンやフィルを最も少ない数の線、パターン、またはドットで印刷します。粗いは、PCL XL または PCL 5c/5e が PDL として選択されている場合は、自動と同じです。

中間

この設定は、線数、パターン、またはドットを、粗い場合より上げて、パターンおよびフィルを印刷します。中間は、PDL として KPD L が選択されている場合、自動と同じです。

精細

この設定は、最大の線数、パターン、またはドット数で印刷します。印刷結果は画面表示より濃くなる場合があります。

細線化

この機能を使うと、バーコードや線を描画する際のペン幅を縮小できます。アプリケーションで設定された線の太さは変更できません。



細線化機能は、PDL として PCL XL を選択した場合に使用できます。PDL (ページ記述言語) ダイアログボックスで、GDI 互換モードが選択されている場合、細線化機能は使用できません。

【印刷品質】 > 【グラフィックス詳細設定】で、細線化設定を選択します。

オフ

細線化は適用されません。

バーコード

この設定は、縦線と横線のペン幅を縮小します。バーコードの読み取りやすさが向上します。

細線のみ

この設定は、縦線、横線、斜線のペン幅を縮小します。

すべての線

バーコードや描画に使用する縦線、横線、斜線のペン幅を 1 ドット縮小します。

一部のモデルでは、【デバイス側で細線を補正する】を選択してバーコード印刷の品質を向上することができます。この機能は、ドライバーではなくデバイス側でのペン幅補正を有効にします。

反転のオプション



これは PDL が KPD L に設定されている場合のみ使用可能です。

このオプションでは、画像や印刷内容の順序、配置、または位置が逆になるように印刷します。

【印刷品質】>【グラフィック詳細設定】で、反転のオプションを選択します。

ネガティブイメージ印刷

この設定では、写真のネガのように、画像の白と黒の領域が反転して印刷されます。

ミラーイメージ印刷

この設定は、画像が鏡に映ったように、ページを左右反転して印刷します。

イメージデータ方式



これは PDL が KPD L に設定されている場合のみ使用可能です。

イメージデータ方式は、プリントデバイスの機能あるいは効率を向上するための処理または方法です。

【印刷品質】>【グラフィック詳細設定】で、イメージデータ方式のオプションを選択します。

バイナリー

この設定は印刷速度を上げ、スプールデータ量を削減します。イメージをバイナリー形式で送信します。これはほとんどすべての印刷ニーズに対して使用できます。

ASCII

この設定は、ASCII テキストエンコードで PostScript ファイルを作成します。バイナリーで作成したバイナリー形式とは異なり、この選択を使用して作成した ASCII テキストは編集可能です。

CIE オプション



これは PDL が KPD L に設定されている場合のみ使用可能です。

この機能を使うと、Adobe Acrobat や Photoshop などのアプリケーションで使われる、CIE カラースペースによる各処理で実行される通常の処理をバイパスします。CIE データの最適化によって、これらのアプリケーションから印刷する文書の印刷速度が速くなります。CIE データを使用していない印刷ジョブに対しては効果はありません。CIE 最適化は、精度よりも印刷速度を重視する場合に選択されるため、実際に印刷される出力と画面上の表示が異なる場合があります。

【印刷品質】>【グラフィック詳細設定】で、**【CIE 最適化】** チェックボックスをオンにします。

半速モード

この機能を使うと、印刷速度を定格速度の半分に下げることができます。選択すると、小さなサイズや厚手の用紙、表面の平滑性が低い用紙に印刷する場合に、トナーの定着性が向上します。このモードでは印刷中の音を低減できることがあります。

この機能を有効にするには、印刷品質タブで**【半速モード】** チェックボックスをオンにします。



半速モードは、OHPフィルムと薄紙を除くすべての用紙種類に設定できます。

エコプリント

この機能を使用すると、画像やテキストなどのグラフィックス全体を薄く印刷し、印刷ジョブのトナー消費量を抑えることができます。エコプリントは、印刷速度に影響しません。トナーの使用量は、お使いのプリントデバイスのモデルと、印刷するデータの種類 (テキスト、グラフィックス、またはその両方) によって異なります。

エコプリントは、簡単設定または基本設定タブからも使用可能です。エコプリントを簡単設定または基本設定タブから選択すると、トナー節約量は最後に設定した節約量に設定されます。節約量が選択されていない場合は、トナー節約量中間がデフォルトとなります。

ロック設定を行う前に、エコプリントをオンにしておく必要があります。エコプリントがオフのままロック設定を使用した場合、すべてのユーザーがエコプリントを使用できなくなります。

管理者は、【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】で**【エコプリント】**を選択することで、確実にすべてのジョブがエコプリントモードで印刷されるようにできます。

エコプリントを選択する

- 1 印刷品質タブで、**【エコプリント】** をオンまたはオフに設定します。

エコプリントがオンの場合、一部のモデルではトナーの節約量を選択できません。

- 2 [OK] をクリックします。

白黒印刷のバランス調整

この機能を使うと、グラフィックの明るさとコントラストを変更できます。これらの設定は、グラフィックイメージが明るすぎる、薄すぎる、あるいは暗すぎる場合に便利です。テキストには影響しません。

白黒設定を調整する

- 1 印刷品質タブの調整リストで、**[ユーザー定義]** を選択します。
バランス調整ダイアログボックスのプレビューイメージに、明るさとコントラストの変更が表示されます。
- 2 印刷ジョブのグラフィックイメージをより明るくしたり暗くしたりするには、明るさの値を入力または選択します。

+100 で最も明るくなり、-100 で最も暗くなります。デフォルトは 0 で、中間レベルの設定です。イメージが明るすぎたり暗すぎたりする場合は、明るさを調整してグラフィックイメージをカスタマイズできます。
- 3 印刷ジョブのグラフィックイメージに対する明暗のコントラストを増減するには、コントラスト の値を入力または選択します。

コントラストの設定を高くすると、グレースケールのスペクトルが減少し、明るいグレーはより明るく、暗いグレーはより暗くなります。コントラストの設定を低くすると、グレースケールのスペクトルが増加し、明るいグレーは暗く、暗いグレーは明るくなります。

+100 で最もコントラストが強くなり、-100 で最も弱くなります。デフォルトは 0 で、中間レベルの設定です。コントラストの調整は、印刷時にグラフィックイメージがぼやける、または明暗がはっきりしすぎる場合に便利です。テキストには影響しません。
- 4 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 5 **[OK]** をクリックして、新しい白黒の設定を保存します。

テキストと図の効果

次の特殊設定が可能です。

文字を黒色で印刷

このオプションはすべての文字を黒色で印刷します。プリンターに送るカラーテキストのデータ量が減るため、印刷が高速化されます。白黒印刷では、この機能を使用することで、印刷された淡色テキストのきめ細かさが向上します。

画像を黒色で印刷

このオプションは、すべての画像をグレースケールではなく黒色で印刷します。この機能は **CAD** アプリケーション向けです。

9 表紙/合紙

表紙/合紙タブでは、印刷ジョブへの表紙と合紙の追加、OHPフィルム間への用紙の挿入ができます。また、各章の1ページ目を用紙の表に設定できます。このタブの機能は、PDFがPDLとして選択されている場合は使用できません。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

表紙付け

この機能を使うと、文書の前後に表紙および裏表紙を追加できます。本文ページに使用する用紙とは別の厚手の用紙やカラー紙などを使い、表紙を印刷することができます。表紙の給紙元は、同じく表紙/合紙ダイアログボックスのタブの表紙の給紙方法設定で指定します。

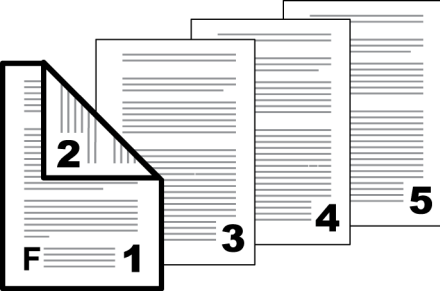
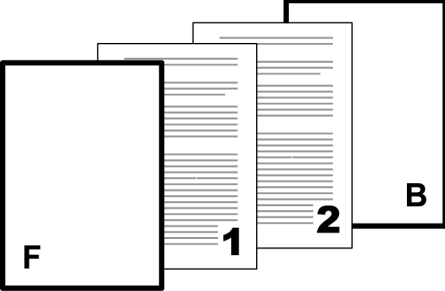
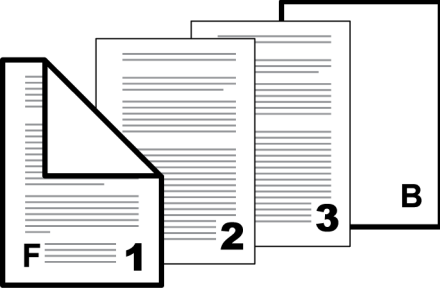
一部のモデルでは、表紙/内側または裏表紙/外側オプションを使用して印刷するには、基本設定または簡単設定タブで両面印刷を選択する必要があります。

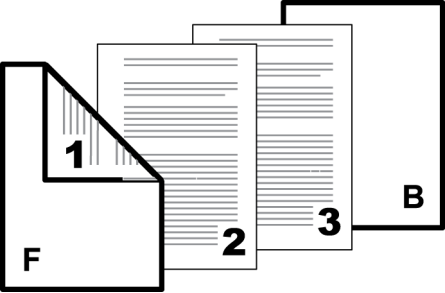
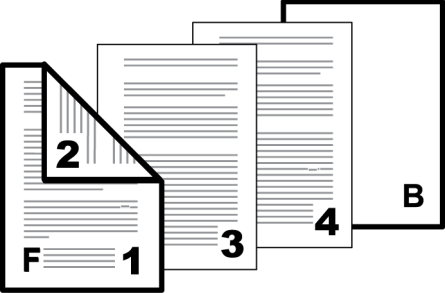
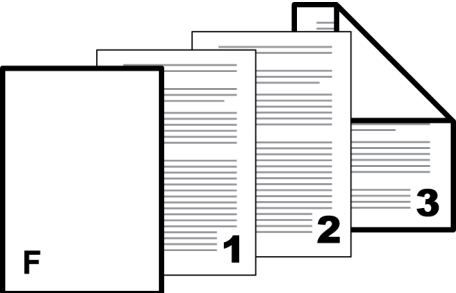


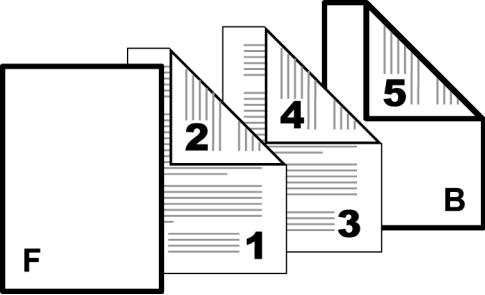
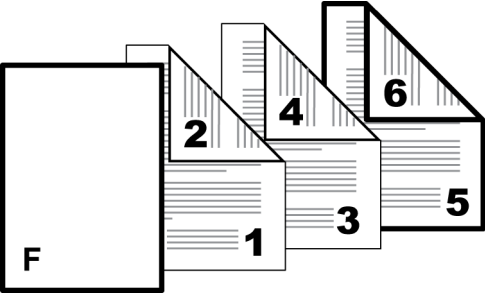
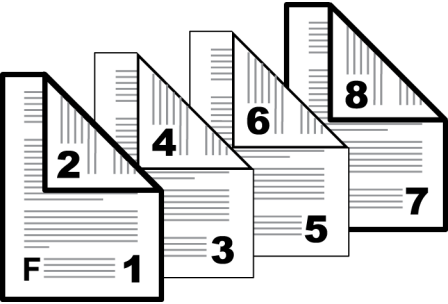
表紙付け機能は、OHP 合紙とは併用できません。

表紙付けオプション

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙のみ	白紙の表紙を追加します。
表紙のみ 表紙: 外側	表紙の外側に印刷します。
表紙のみ 表紙: 内側	表紙の内側に印刷します。
表紙のみ 表紙: 外側	表紙の両面に印刷します。

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙: 内側	
表紙と裏表紙	白紙の表紙と裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙: 外側	表紙の外側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙: 内側	表紙の内側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
	
表紙と裏表紙 表紙: 外側 表紙: 内側	表紙の両面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙: 内側	裏表紙の内側に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙: 外側	裏表紙の外側に印刷し、白紙の表紙を追加します。

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
	
表紙と裏表紙 裏表紙: 内側 裏表紙: 外側	裏表紙の両面に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙: 外側 表紙: 内側 裏表紙: 内側 裏表紙: 外側	表紙と裏表紙の両面に印刷します。 

表紙を印刷する

- 1 表紙/合紙タブで、**【表紙付け】** アイコンをクリックします。
- 2 **【表紙のみ】** または **【表紙と裏表紙】** を選択して、印刷する表紙の種類を指定します。
- 3 表紙に印刷する場合は、印刷面オプションから選択します。

- 4 表紙の給紙方法リストから、表紙と裏表紙の用紙種類、または給紙元を選びます。用紙種類を選んだ場合は、用紙種類と一致する給紙元が自動的に選択されます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

OHP 合紙

この機能を使うと、OHP フィルムの間に合紙を挿入できます。合紙は間紙とも呼ばれ、OHP フィルムに汚れや傷が付いたり、フィルム同士が張り付いたりするのを防ぎます。この機能は、OHP フィルムを手差しトレイから給紙して印刷する場合にのみ使用可能です。OHP フィルムと同じ内容を、挿入する合紙に印刷することもできます。



OHP 合紙機能は、表紙付け、合紙、および章分けの挿入と組み合わせて使用できませんのでご注意ください。

OHP フィルム間に合紙を挿入する

- 1 **[基本設定]** > **[用紙種類]** で、**[OHP フィルム]** を選択します。



用紙種類が表示されない場合、給紙元リストで **[自動 (OHP フィルム)]** を選択します。用紙種類および給紙元リストは、**[デバイス設定]** > **[互換性]** で組み合わせられます。

- 2 表紙/合紙タブで、**[OHP 合紙]** アイコンをクリックします。
- 3 OHP フィルムと同じ内容を合紙に印刷する場合は、**[合紙に印刷]** チェックボックスをオンにします。
- 4 合紙の給紙方法ドロップダウンリストで、用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合、用紙種類と一致する給紙元が自動的に選択されます。
- 5 **[OK]** をクリックします。
プリントデバイスの操作パネルには、OHP フィルムを手差しトレイにセットするよう、また必要に応じて選択したカセットに合紙の用紙をセットするよう、メッセージが表示されます。

合紙

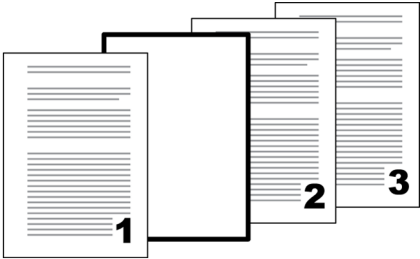
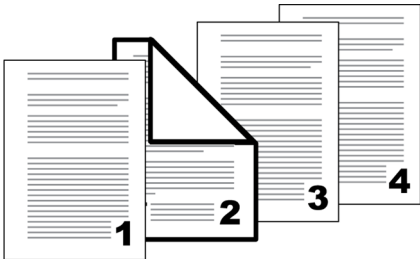
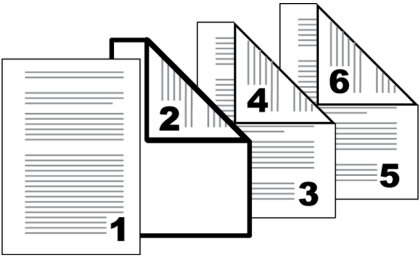
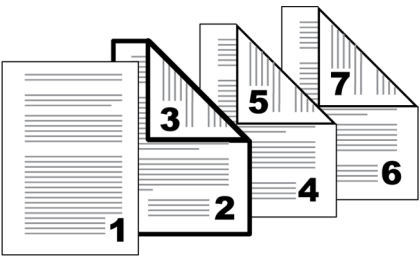
この機能を使うと、プレプリントされたページ、または別の種類の用紙を、印刷ジョブの中の指定された箇所に挿入することができます。また、印刷ジョブ中に、挿入された合紙に印刷することも可能です。両面印刷機能を使用すると、合紙裏面にも印刷できます。

裏面オプションを使用して印刷するには、基本設定または簡単設定タブで両面印刷を選択する必要があります。



合紙機能は、OHP 合紙とは併用できません。

合紙印刷の組み合わせ

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙	合紙として白紙を挿入する。 
合紙 おもて面	合紙のおもて面に印刷する。 
合紙 裏面	合紙の裏面に印刷する。 
合紙 おもて面 裏面	合紙の両面に印刷する。 

合紙を印刷する

- 1 表紙/合紙タブで、**【合紙】**アイコンをクリックします。
- 2 選択可能な印刷面オプションから選択します。

おもて面
合紙のおもて面に印刷します。

裏面
合紙の裏面に印刷します。
- 3 合紙挿入位置に、差し込む位置のページ番号を入れます。合紙は、入力したページ番号とその前のページの間に差し込まれます。
- 4 合紙の給紙方法ドロップダウンリストから、合紙の用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

章分けの挿入

この機能を使うと、両面印刷時に文書の各章最初のページを、強制的に用紙のおもて面に印刷できます。それぞれの章の最初のページを、最大 100 章識別します。この機能は、両面印刷やページ集約印刷時にも設定できます。

ソートは、簡単設定タブと基本設定タブで自動的に有効になります。



章分けの挿入は、レイアウトタブのポスターおよび製本、または表紙/合紙タブの OHP 合紙とは同時に使用できません。

この機能は、PCL 5c/5e が PDL として選択されている場合は使用できません。

章 (指定したページ) で分けて印刷する

- 1 簡単設定または基本設定タブで、**【両面印刷】** を選択します。
- 2 表紙/合紙タブで、**【章分けの挿入】**アイコンをクリックします。
- 3 章分けの最初のページに、各章最初のページ番号を 2 から 999 の間で入力します。ページ番号は、カンマで区切って入力できます。



【表紙付け】 > 【印刷面】 > 【表面】で、外側と内側が選択されている場合には、ページ番号は、3 から 999 の間で入力してください。

- 4 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

10 ジョブ保存

ジョブ保存タブでは、プリントデバイスに装着されているメモリーに印刷ジョブを保存できます。また、ジョブ名を選択してジョブ保存機能と併せて使用することもできます。このタブは、Microsoft Windows アプリケーションから文書を印刷する際に、デフォルト設定を決定または変更するために使用します。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバにアクセスした場合に表示されます。

管理者は【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】>【ジョブ保存タブ】に移動し、選択したジョブ保存タブの設定を使用してすべてのジョブを保存または印刷することができます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。

ジョブ拡張機能:

タイプ:
試し刷り後、保留

ジョブ名:

☒ アプリケーション定義(F)

☒ アプリケーション名をジョブ名に使用しない(U)

☐ ユーザー定義(Q):

上書きモード:
ジョブ名 + 日付と時間を(V)

標準に戻す(R)

ジョブ拡張機能

ジョブ拡張機能は、印刷ジョブをプリントデバイスのメモリーに保存するための各種設定や、それら印刷ジョブの印刷や再印刷を実行する機能を提供します。印刷ジョブ

は、プリントデバイスの操作パネルから後で簡単に印刷し直すことができ、機密文書の印刷を許可されたユーザーだけに制限することも可能です。

この機能は、高度な印刷管理をデスクトップから直接行うことのできる多層的なソリューションです。プリントデバイスにジョブを保存することにより、コンピューターからジョブを再送信しなくても、操作パネルからいつでも再印刷することが可能です。

ジョブ拡張機能を利用する場合、デバイス設定にあるユーザー設定ダイアログボックスで、ユーザー名を設定することもできます。**Windows** のログインユーザー名を使用する場合 (デフォルト) は、ユーザー名の設定は不要です。

[デバイス設定] > [管理者設定] > [Net Manager] で、Net Manager が選択されている場合、ジョブ拡張機能は使用できません。

ジョブ拡張機能のオプション

	パスワードが必要	ジョブの印刷時	ジョブがメモリーから削除される時
ユーザーボックス	オプション	操作パネルからの出力時	手動で削除、または最大 31 日間
クイックコピー	なし	PC から送られた時	プリントデバイスの電源オフ時、ストレージデバイス容量の超過時、またはジョブ保持日数経過時
試し刷り後、保留	なし	ジョブが送られた時に 1 部印刷し、残りは後で印刷	プリントデバイスの電源オフ時、またはジョブ保持日数経過時
プライベートプリント	あり	操作パネルからパスワードが入力された時	プリントデバイスの電源オフ時、印刷後、またはジョブ保持日数経過後
ジョブ保留	オプション	操作パネルからの出力時	手動で削除された時

ユーザーボックス

この機能を使うと、印刷ジョブはプリントデバイスの操作パネルから印刷されるまで保存されます。保存したジョブはストレージデバイスから 1 つまたは複数印刷できます。

印刷ジョブはストレージデバイスに 1 ～ 31 日間保存するか、または印刷後に削除できます。

ユーザーボックスは、プリントデバイスのホームページで、またデバイス設定からアクセスするハードディスクまたは SSD 設定で、ユーザーごとに設定する必要があります。ユーザーボックスは最大 1000 個作成できます。

ユーザーボックスにジョブを保存する

- 1 ジョブ保存タブで、**[ジョブ拡張機能]** をクリックします。
- 2 タイプリストで、**[ユーザーボックス]** を選択します。
- 3 **[設定]** をクリックします。
- 4 ユーザーボックス設定オプションを選択します。

特定のボックス番号を使用

ボックス番号とパスワードを入力します。

印刷時にボックス番号を入力

印刷を開始すると、ユーザーボックスダイアログボックスが表示されます。定義されたユーザーボックスリストからボックス番号を入力します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

印刷時にボックスリストから選択

印刷を開始すると、ユーザーボックスダイアログボックスが表示されます。リストからボックス番号を選択します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

ログインユーザー毎にボックス番号を確認

印刷を開始すると、ユーザーボックスダイアログボックスが表示されます。ボックス番号を入力します。パスワード保護を行うには、パスワードの確認を選択し、パスワードを入力します。



ハードディスクまたは SSD 設定ダイアログボックスで共有ボックスが選択されている場合、印刷時にボックスリストから選択、またはログインユーザー毎にボックス番号を確認のみを選択できます。

- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

[ログインユーザー毎にボックス番号を確認] を選択した場合、ドライバーはユーザーボックスからログインユーザー名を検索し、ユーザーボックス名として使用します。

- 一致したユーザー名が見つかり、そのユーザーボックスを使用して印刷ジョブを実行します。
- 一致するユーザー名が見つからない場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限を確認します。管理者権限がある場合、ボックス番号および印刷ジョブ用のパスワードを入力するよう求められます。ドライバーは **Windows** のログインユーザー名を検索し、ボックス番号とパスワードとともに、この名前をドライバーのユーザーボックスリストに追加します。ユーザー権限の場合、印刷ジョブはキャンセルされます。ユーザーには管理者に問い合わせるよう促すメッセージが表示されます。

クイックコピー

クイックコピーは、印刷ジョブのすべての部数を印刷した後、再び印刷できるようにするため、印刷ジョブを一時的にストレージデバイスに保存しておく、ジョブ拡張機能のオプションです。この機能は、ストレージデバイスが装着され、デバイス設定で選択されている場合に使用可能です。

クイックコピーは、文書の印刷後に追加部数を印刷することが必要になった場合などに便利です。その場合は、コンピューターからジョブを再送信することなく、プリントデバイスの操作パネルから追加部数を設定して印刷できます。

保存可能な「クイックコピー」ジョブおよび「試し刷り後、保留」ジョブの数は、プリントデバイスの操作パネルで設定できます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。クイックコピージョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されます。ジョブは、プリントデバイスの電源がオフになる、またはジョブ保持日数を過ぎると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。



印刷ジョブは、同じユーザー名とジョブ名を持つ、ストレージデバイス内にあるジョブを置き換えます。こうした状況を防ぐには、上書きモードで、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]**を選択します。



この機能を SD カードで使用する際は、デバイス設定で、**[RAM ディスク]**のチェックボックスをオフにします。デバイスの RAM ディスク設定もオフにする必要があります。

クイックコピージョブを印刷する

- 1 ジョブ保存タブで、**[ジョブ拡張機能]** アイコンをクリックします。
- 2 タイプリストで、**[クイックコピー]**を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

試し刷り後、保留

試し刷り後、保留は、印刷ジョブを 1 部印刷してから残りの部数を印刷することで、印刷結果を確認できるジョブ拡張機能のオプションです。この機能は、プリントデバイスにストレージデバイスがインストールされているか RAM ディスクが設定されていて、デバイス設定で選択されている場合に使用可能です。

試し刷り印刷を行って確認した後は、コンピューターからジョブを再送信しなくても、プリントデバイスの操作パネルから残りの部数を印刷することができます。必要に応じて、印刷部数は変更することができます。



試し刷り後、保留は、Microsoft Excel など一部のアプリケーションでは使用できません。

保存可能な「試し刷り後、保留」ジョブおよび「クイックコピー」ジョブの数は、プリントデバイスの操作パネルで設定できます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。試し刷り後、保留ジョブはすべて、

印刷後にストレージデバイスに保存されます。ジョブは、プリントデバイスの電源がオフになる、またはジョブ保持日数を過ぎると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

! 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、上書きモードで、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]**を選択します。

試し刷り後、保留ジョブを印刷する

- 1 基本設定タブで、印刷部数を選択します。
- 2 ジョブ保存タブで、**[ジョブ拡張機能]**アイコンをクリックします。
- 3 タイプリストで、**[試し刷り後、保留]**を選択します。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

プライベートプリント

プライベートプリントはジョブ拡張機能の1つで、印刷するためにパスワードが入力されるまで、印刷ジョブをストレージデバイスまたは **RAM** ディスクに保存します。ストレージデバイスや、**RAM** ディスクが、容量の最大まで使用されている場合、新たなプライベートプリントジョブは、受け付けられません。ストレージデバイスや、**RAM** ディスクに新たなプライベートプリントジョブを受け付ける十分な容量があることを確認する必要があります。プライベートプリントジョブは、プリントデバイスのリセットや電源オフ時、またはジョブ保持日数の超過時に削除されます。ジョブを削除されたくない場合は、ジョブ保留機能を選択してください。

機密文書をプリントデバイスに送信する場合、パスワードを入力する必要があります(パスワードは、ジョブ名、ユーザー名と共に印刷ジョブに添付されます)。パスワードの入力が求められるオプションを選択することもできます。プリントデバイスの操作パネルにパスワードが入力されるまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリントデバイスのメモリーから削除されます。

保存可能なプライベートプリントジョブの数は、ストレージデバイスまたは **RAM** ディスクの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

! 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、上書きモードで、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]**を選択します。

プライベートプリントジョブを保管する

- 1 ジョブ保存タブで、**[ジョブ拡張機能]**アイコンをクリックします。
- 2 タイプリストで、**[プライベートプリント]**を選択します。
- 3 パスワードを選択するための方法を選択します。

- すべての印刷ジョブに対して同じパスワードを使用する場合は、【印刷時にパスワードを入力】の選択を解除し、「パスワードの指定」ボックスにパスワードを入力します。
- 各印刷ジョブに対して、異なるパスワードを使用する場合は、【印刷時にパスワードを入力】を選択します。アプリケーションの印刷ダイアログボックスで **[OK]** をクリックすると、プライベートプリントのダイアログボックスが表示されるのでパスワードを入力します。

4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ジョブ保留

ジョブ保留は、ジョブ拡張機能の 1 つで、印刷ジョブをストレージデバイスに恒久的に保存しておき、再印刷を可能にします。また、パスワードを使用してジョブが不正に印刷されるのを防ぐオプションも用意されています。この機能は、ストレージデバイスが装着され、デバイス設定で選択されている場合に使用可能です。

ジョブ保留で印刷したジョブは、プリントデバイスの電源を一度切った後でも再印刷が可能のため、いつでも印刷できるようにしておく必要のあるジョブなどに便利です。ジョブ保留ジョブを削除するには、プリントデバイスから手動で削除します。

必要に応じて、パスワードをジョブ保留ジョブに設定して、誰にも見られないようにジョブを印刷したり、許可されたユーザーだけに印刷を制限したりすることができます。パスワードを設定すると、ユーザーがプリントデバイスの操作パネルからパスワードを入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリントデバイスのメモリーに残ります。

保存可能なジョブ保留ジョブの数は、ストレージデバイスの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。



印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、上書きモードで、【ジョブ名 + 日付と時間を使用】を選択します。



この機能を SD カードで使用する際は、デバイス設定で、RAM ディスクのチェックボックスをオフにします。デバイスの RAM ディスク設定もオフにする必要があります。

ジョブ保留ジョブを保管する

1 ジョブ保存タブで【ジョブ拡張機能】アイコンを選択します。

2 タイプリストで、【ジョブ保留】を選択します。

3 パスワードを選択するための方法を選択します。

- すべての印刷ジョブに対して同じパスワードを使用する場合は、【印刷時にパスワードを入力】の選択を解除し、「パスワードの指定」ボックスにパスワードを入力します。
- 各印刷ジョブに対して、異なるパスワードを使用する場合は、【印刷時にパスワードを入力】を選択します。アプリケーションの印刷ダイアログボックス

スで、**[OK]** をクリックすると、ジョブ拡張機能ダイアログボックスが表示されるのでパスワードを入力します。

- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ユーザー管理

ユーザー管理は、部署や部門ごとに権限を割り当てる部門管理とは異なり、ユーザーごとにジョブ制限を提供します。この機能は、**[デバイス設定] > [管理者設定] > [ユーザー管理]** で「特定のログインユーザー名を使用」を選択した場合に、ジョブ保存タブに表示されます。

ジョブ保存タブで、印刷ジョブに対してユーザー名やパスワードを一時的に変更できます。デバイス設定で設定されたデフォルトのユーザー名やパスワードは変更されません。

ユーザー管理を使用して印刷する

- 1 ジョブ保存タブで、ユーザー管理の下にある **[オプション設定]** をクリックします。
- 2 認証設定ダイアログボックスで、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

部門管理

この機能を使うと、管理者はユーザーや部門に部門コードを割り当てることで、プリントデバイスを管理できます。**[デバイス設定] > [管理者設定] > [部門管理]** で「特定のコードを使用」を選択した場合、この機能がジョブ保存タブに表示されます。

ジョブ保存 タブで、印刷ジョブに対して部門コードを一時的に変更できます。デバイス設定 で設定したデフォルトの部門コードは変更されません。

部門管理を使用して印刷する

- 1 ジョブ保存タブで、部門管理の下にある **[オプション設定]** をクリックします。
- 2 認証設定ダイアログボックスで、部門コードを入力します。
- 3 **[標準に戻す]** をクリックすると、デフォルトの設定に戻ります。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ジョブ名

ジョブ名は、印刷ジョブごとの識別名です。これはプリントデバイスの操作パネルからジョブを検索したり、印刷したりするのに便利です。ジョブ拡張機能のいずれかを使用して印刷ジョブを送信する場合、ジョブにカスタム名を割り当てたり、アプリケーションファイルの名前を使用したりできます。

Microsoft Word および PowerPoint では、アプリケーションで定義されるジョブ名にアプリケーション名を含めたり、除外したりできます。またプリントデバイスのメモリー内のジョブが印刷されるとき、同じジョブ名を持つ新しいジョブによって置き換えられないようにすることもできます。

アプリケーション名をジョブ名に使用しない

この機能を使うと、ジョブ拡張機能で、ジョブ名からアプリケーション名を削除できます。【アプリケーション名をジョブ名に使用しない】を選択すると、選択したファイル名がジョブリストにわかりやすく表示されます。この機能は、Microsoft Word または PowerPoint から印刷する場合にのみ使用できます。

上書きモード

この機能を使うと、保存された印刷ジョブが同じジョブ名を持つ新しいジョブによって、プリントデバイスのメモリー内で置き換えられないようにできます。ユーザーが同じユーザー名とジョブ名を持つ 2 つの印刷ジョブを送信した場合、2 番目のジョブは何のメッセージも表示しないで最初のジョブに置き換わります。これを防ぐために、上書きモードはジョブが送信された日付と時間を追加して自動的にジョブ名を変更します。また、この機能はコンピューターから印刷ジョブが送信された時間を追跡するのも役立ちます。

選択したオプションは、アプリケーション定義またはユーザー定義が選択されたジョブ名に適用されます。上書きモードには、次のオプションがあります。

既存のファイルを置き換える

このオプションは、同じユーザー名および同じジョブ名が存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントデバイスメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

ジョブ名 + 日付と時間を使用

このオプションは、現在の日付と時間をジョブ名の後ろに追加します。したがって、同じジョブ名の印刷ジョブがあっても上書きされません。

ジョブ名を選択する

ジョブ拡張機能を使用する際に、プリントデバイスの操作パネルに表示されるジョブリストから目的のジョブを確認できるよう、ジョブ名を設定することができます。選択したジョブ名は、ジョブがプリントデバイスに送信されるときに、印刷ジョブとともに保存されます。

- 1 【ジョブ保存】>【ジョブ名】で名前を選択します。

アプリケーション定義

アプリケーションの文書名をジョブ名として使用します。Microsoft Word または PowerPoint の場合、「アプリケーション名をジョブ名に使用しない」を選択すると、ジョブ名としてドキュメント名のみを表示するためにアプリケーション名が削除されます。

ユーザー定義

このオプションは、ジョブごとに任意の名前を使用します。79 文字以内でボックスに名前を入力します。

- 2** 同じジョブ名のジョブがプリントデバイスのメモリーにすでに存在する場合は、上書きモードオプションを選択します。

既存のファイルを置き換える

同じユーザー名および同じジョブ名のジョブが存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントデバイスメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

ジョブ名 + 日付と時間を使用

現在の日付と時間をジョブ名の後ろに追加します。

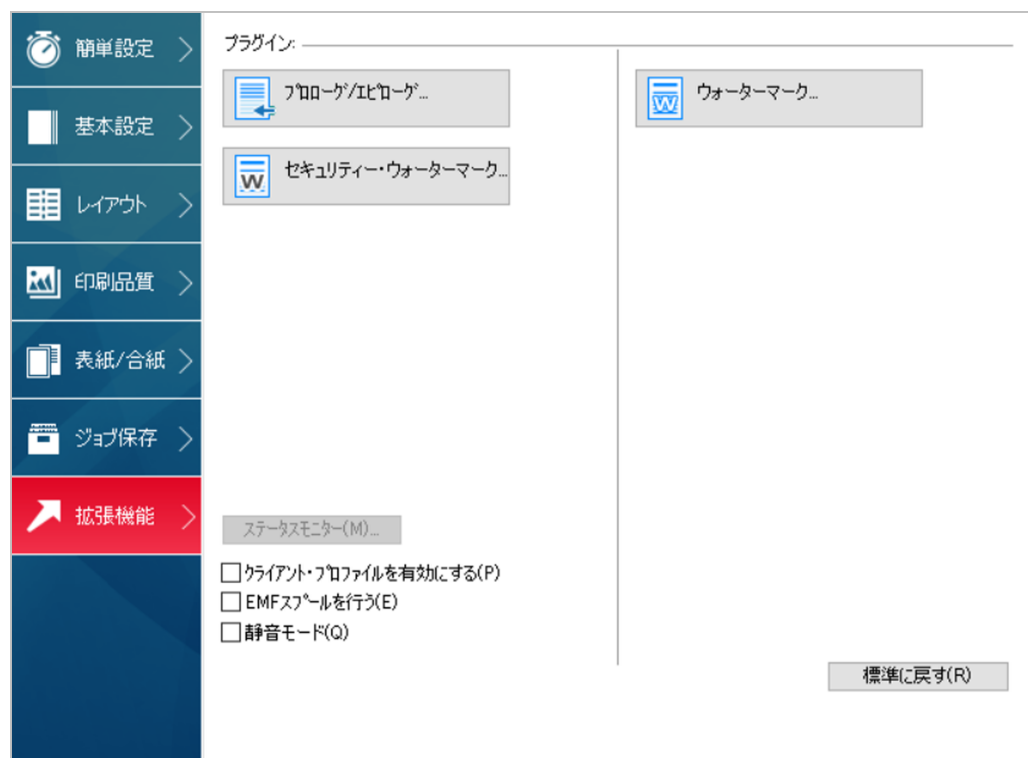
11 拡張機能

拡張機能タブでは、プリントデバイスの機能を拡張させる特別な機能を選択できます。

【標準に戻す】をクリックすると、EMF スプールを行うのチェックボックスと静音モードのチェックボックスは、プリンタードライバーの印刷設定で設定されたデフォルト設定に戻ります。「標準に戻す」ボタンは、アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



お使いのプリントデバイスのモデルによっては、一部の機能とオプションを使用できない場合があります。



プロローグ/エピローグ

この機能を使うと、印刷ジョブの始めまたは終わりにコマンドファイルを挿入できます。コマンドファイルは、本機に搭載されているプリスクライプ言語のプログラミングコマンドを使用します。Product Library ディスクには、プリスクライプコマンド言語の説明書が含まれています。

コマンドファイルは一連の命令であり、プリントデバイスはこれを解釈して所定の出力を生成します。たとえばレターヘッドのように、文書の決まった位置にロゴなどを印刷するために、プロローグ/エピローグコマンドファイルにマクロを挿入すること

ができます。または、基本設定タブのカーボンコピー機能を使用している場合は、カーボンコピーに見出しを挿入できます。

印刷ジョブに追加する前に、お使いのコンピュータでプロログ/エピログファイルを使用可能にしておく必要があります。このファイルを作成するには、Windowsのメモ帳などのテキストエディターを使用します。コンピュータで【編集】をクリックして、プロログ/エピログファイルを編集できます。コマンドファイルを編集して保存すると、ローカルまたはネットワークにある既存ファイルの内容が上書きされます。

リストでプロログ/エピログファイルを選択して【削除】をクリックすることにより、ファイルを削除できます。プロログ/エピログデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカルコンピュータに残ります。

挿入箇所オプション

挿入箇所は、選択されたプロログ/エピログコマンドファイルが、プリントデバイスによって処理される印刷ジョブ内の場所です。コマンドファイルリストの各ファイルに割り当てられる挿入箇所は1つです。



ページのはじめ と ページの終わり の挿入箇所オプションは、PCL 5c/5e が PDL として選択されている場合のみ使用できます。

なし [未設定]

選択したコマンドファイルは印刷ジョブに挿入されません。この選択は、複数のコマンドファイルがある場合に、特定のコマンドファイルだけを使用する際に使用できます。コマンドファイルを使用しない印刷ジョブには、「なし [未設定]」を選択します。

文書のはじめ

コマンドファイルは印刷ジョブの最初のページに挿入されます。文書は2ページ目から印刷が開始されます。

文書の終わり

コマンドファイルは、印刷ジョブの最終ページに挿入され、文書の最終ページの後に印刷されます。

ページのはじめ

コマンドファイルは、印刷ジョブの各ページの前に挿入されます。

ページの終わり

コマンドファイルは、印刷ジョブの各ページの後ろに挿入されます。

奇数ページに挿入

「ページのはじめ」または「ページの終わり」を選択すると、このオプションを選択して、すべての奇数ページにコマンドファイルを挿入できます。

偶数ページに挿入

「ページのはじめ」または「ページの終わり」を選択すると、このオプションを選択して、すべての偶数ページにコマンドファイルを挿入できます。

ページ指定

「ページのはじめ」または「ページの終わり」を選択すると、このオプションを使用して、指定されたページにコマンドファイルを挿入できます。テキストボックスにページ番号をカンマで区切って入力するか、またはハイフンで区切ってページ範囲を指定します。

プロローグ/エピローグファイルの選択および割り当てをする

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、**[参照]** をクリックしてプロローグ/エピローグファイル (.TXT、.LOG) を選択し、プロローグ/エピローグデータファイルリストに追加できます。
- 2 リストからファイルを選択します。
- 3 挿入箇所、プロローグ/エピローグファイルを挿入する場所を選択するか、または **[なし]** **[未設定]** を選択します。
- 4 必要に応じて、手順 1 - 3 を繰り返してファイルを追加します。
- 5 **[OK]** をクリックします。

プロローグ/エピローグファイルを編集する

コンピュータで、プロローグ/エピローグファイルを編集できます。

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、リストからプロローグ/エピローグファイル名を選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 テキストエディターが開いてから、ファイルの変更を行います。
- 3 ファイルを保存し、終了します。



コマンドファイルを編集して保存すると、ローカルまたはネットワークにある既存ファイルの内容が上書きされます。

プロローグ/エピローグファイルを削除する

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、リストからプロローグ/エピローグファイル名を選択し、**[削除]** をクリックします。
- 2 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **[はい]** をクリックします。



プロローグ/エピローグデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカルコンピュータに残ります。

ウォーターマーク

ウォーターマークは、目に見える画像またはパターンで、ページ上または文書全体に配置できます。デフォルトのウォーターマークを1つ選択するか、独自の文字列を作成するか、または画像を使用することができます。ダイアログボックスのプレビュー領域には、ウォーターマークがどのように表示されるのかが示されます。これはウォーターマークの外観や位置を変更するときに便利です。

すべてのウォーターマークは編集可能ですが、デフォルトのウォーターマークでは限られた数のオプションしか変更できません。

ウォーターマークに画像を使用する場合は、印刷ジョブに追加する前に、お使いのコンピュータで画像ファイルを準備しておく必要があります。

ウォーターマークの間隔には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。単位の設定は、【デバイス設定】>【ユーザー】のユーザー設定ダイアログボックスで変更できます。クライアント/サーバー環境では、クライアントコンピュータで単位の設定は使用できません。

ロック設定を行う前に、ウォーターマークをオンにしておく必要があります。ウォーターマークがオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーはウォーターマークが使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】で、【ウォーターマーク】を選択することで、すべてのジョブにウォーターマークが印刷されるようにすることができます。

ウォーターマーク文字列を追加または編集する

- 1 【拡張機能】>【ウォーターマーク】で【新規】をクリックし、カスタムのウォーターマーク文字列を作成します。



デフォルトのウォーターマーク文字列のオプションは編集できません。カスタムのウォーターマーク文字列を編集するには、リストから目的の文字列を選択します。

- 2 希望するウォーターマーク名と文字列を入力します。
- 3 文字列のフォント、サイズ、スタイル、およびカラーを選択します。



カラーを黒または特定のグレースケール値に設定します。

- 4 「数」には、1 ページに表示されるウォーターマーク文字列の数を設定します。「間隔」には、文字列の間隔を指定します。
- 5 ウォーターマークの角度と、水平または垂直位置を設定します。
「中心を軸に回転」オプションは、ウォーターマークの中心を回転軸として設定します。
- 6 「印刷面」で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

最初のページよりも後の、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

指定したページ

指定したページにウォーターマークを印刷します。

表紙の外側

表紙にウォーターマークを印刷します。このオプションは、表紙/合紙タブで「表紙付け」を選択した場合に使用可能です。表紙/合紙タブで、「表紙付け」を「表紙のみ/外側」または「表紙と裏表紙/外側」に設定した場合、「表紙の外側」が自動的に選択されます。

- 7 **[追加]** をクリックし、すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ウォーターマークイメージを追加または編集する

- 1 **[拡張機能]** > **[ウォーターマーク]** で **[新規]** をクリックし、カスタムのウォーターマークイメージを作成します。



カスタムのウォーターマークイメージを編集するには、リストから目的のイメージを選択します。

- 2 ウォーターマーク名を入力し、ウォーターマークイメージを設定します。

- 3 縮小/拡大と不透明度の値を指定します。

「自動」オプションは、イメージ全体をページの中央に合わせます。

- 4 ウォーターマークの角度と、水平または垂直位置を設定します。

「中心を軸に回転」オプションは、ウォーターマークの中心を回転軸として設定します。

- 5 「印刷面」で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

最初のページよりも後の、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

指定したページ

指定したページにウォーターマークを印刷します。

表紙の外側

表紙にウォーターマークを印刷します。このオプションは、表紙/合紙タブで「表紙付け」を選択した場合に使用可能です。表紙/合紙タブで、「表紙付け」を「表紙のみ/外側」または「表紙と裏表紙/外側」に設定した場合、「表紙の外側」が自動的に選択されます。

- 6** **【追加】** をクリックし、すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

セキュリティ・ウォーターマーク

このプラグイン機能を使用すると、ほとんど目に見えない画像やテキストを背景に印刷できます。セキュリティ・ウォーターマークは、印刷されたページがコピーされた場合にのみ表示されます。この機能により、コピーが禁止されている印刷文書を識別したり、元の文書とコピーされた文書を区別したりすることが可能になります。標準では、6種類のテキストまたは画像のセキュリティ・ウォーターマークを使用できますが、ユーザー独自のセキュリティ・ウォーターマーク文字列を作成することもできます。

オプションのコンポーネントウィザードでは、プリンタードライバのインストール後、セキュリティ・ウォーターマークプラグインをインストールできます。

セキュリティ・ウォーターマークは、PCL XL が PDL として選択されている場合、「拡張機能」タブで使用できます。

セキュリティ・ウォーターマークはいずれも編集可能ですが、デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークに対して変更できるオプションには制限があります。

セキュリティ・ウォーターマークのガードパターン機能を使用すると、文書が不正にコピー、スキャン、またはファクス送信されたり、メモリーから印刷されたりすることを防ぎます。スキャン、ファクス送信、またはメモリーからの印刷が試行されると、印刷処理が停止し、プリントデバイスの操作パネルにメッセージが表示されます。

セキュリティ・ウォーターマークを効果的にするには、印刷した用紙ではほとんど見えないが、コピーした用紙でははっきりと表示されるようにする必要があります。プリントデバイスとドライバの設定は、印刷ジョブによってそれぞれ異なるため、セキュリティ・ウォーターマークを印刷する前に、パターンの濃度とコントラストの調整を行う必要があります。このパターン調整は、背景パターンを変更したとき、トナーまたはプリントデバイスを交換したとき、または負荷の高い印刷を行った後にも行うことをお勧めします。

セキュリティ・ウォーターマークを選択すると、ドライバの各機能は次のように設定されます。

- 拡張機能タブのウォーターマークは、なしに設定されます。
- **【印刷品質】 > 【品質設定】 > 【ユーザー定義】 > 【カスタム品質の設定】** で、解像度は 600 dpi に設定されます。
- **【印刷品質】 > 【品質設定】 > 【ユーザー定義】 > 【カスタム品質の設定】** で、Kyocera Image Refinement はオフに設定されます。
- 簡単設定、基本設定、または印刷品質のエコプリントはオフに設定されます。
- 印刷品質タブの調整は、なしに設定されます。

また、この逆も同様です。これらの設定が変更された場合、セキュリティ・ウォーターマークの選択は「なし」に設定されて使用できません。

ロック設定を行う前に、セキュリティ・ウォーターマークをオンにしておく必要があります。セキュリティ・ウォーターマークがオフのままロック設定を行った場合、すべてのユーザーはセキュリティ・ウォーターマークが使用できなくなりますのでご注意ください。

管理者は、**【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】**で、**【セキュリティ・ウォーターマーク】**を選択することで、すべてのジョブでセキュリティ・ウォーターマークを印刷できます。

セキュリティ・ウォーターマークを追加または編集する

- 1 **【拡張機能】>【セキュリティ・ウォーターマーク】**で**【新規】**をクリックしてカスタムのセキュリティ・ウォーターマークを作成します。



デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークのオプションは編集できません。カスタムのセキュリティ・ウォーターマークを編集するには、リストから目的のセキュリティ・ウォーターマークを選択します。

- 2 セキュリティ・ウォーターマークの名前を入力します。

- 3 文字列は 3 行まで設定できます。

なし

このオプションは、行を空白のままにします。

ユーザー定義

このオプションでは、指定したテキストを入力できます。

他のあらかじめ定義されたオプションには、コンピューター名やユーザー名、ジョブ ID など、コンピューターまたはプリンタードライバーの情報が含まれます。

- 4 文字列のフォント、サイズ、スタイルおよび角度を選択します。

- 5 セキュリティ・ウォーターマークの背景のデザインを選択します。

ガードパターン

ガードパターンは、セキュリティ・ウォーターマークの背景として表示されます。

パターン

セキュリティ・ウォーターマークの背景を、あらかじめ定義された背景から選択します。

- 6 最適な濃度とコントラストの設定を次から選択します。

濃度

背景パターンの濃度を選択します。

コントラスト

背景に印刷するウォーターマーク文字列のコントラストレベルを選択します。



【サンプル印字】をクリックすると、選択した濃度に対するコントラストオプションをすべて表示したページが印刷されます。これを、全ての濃度オプションに対して繰り返します。ほとんど目に見えないセキュリティ・ウォーターマークのサンプルを選択し、そのサンプルに合わせて設定を変更します。

- 7** 印刷面で、セキュリティ・ウォーターマークを印刷するページを選択します。

すべてのページ

文書の各ページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

最初のページのみ

文書の最初のページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

最初のページ以外すべて

最初のページよりも後の、すべてのページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

指定したページ

指定したページにセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。

表紙の外側

表紙にセキュリティ・ウォーターマークを印刷します。このオプションは、表紙/合紙タブで「表紙付け」を選択した場合に使用可能です。表紙/合紙タブで、「表紙付け」を「表紙のみ/外側」または「表紙と裏表紙/外側」に設定した場合、「表紙の外側」が自動的に選択されます。

- 8** ウォーターマークの文字列の 1 行目をページの下部に印刷する場合は、**【フッターにも印刷】**を選択し、配置のオプションを設定します。これは、通常セキュリティ・ウォーターマークそのものは印刷ページに表示されないため便利です。
- 9** 文書の内容がページ全体にわたる Microsoft PowerPoint や Internet Explorer などのアプリケーションでは、**【上書きモード】**を選択します。セキュリティ・ウォーターマークは文書データの上に重ねて印刷されているため、コピーではっきりと表示されます。
- 10** **【追加】**をクリックし、すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

ステータスマニター通知

ステータスマニターは、ジョブの印刷中にプリントデバイスのステータス情報を表示します。プリントデバイスのイベントに、サウンドと音声による通知を設定することもできます。

サポートされているプリントデバイスごとに、ステータスマニターを起動できます。同時に複数のステータスマニターを表示できます。

ステータスマニター通知を設定する

- 1 拡張機能タブで、**【ステータスマニター】**をクリックします。
- 2 ステータスマニター通知ダイアログボックスで、**【イベントの通知を有効にする】**チェックボックスをオンにします。
- 3 サウンドまたは音声による通知を追加するには、有効なイベントリストからイベントを選択します。
 - カバーオープン
 - 紙づまり
 - 用紙切れ
 - スリープ
 - トナー切れ
 - トナー残量少
 - 未接続
 - 印刷完了
 - その他
- 4 「サウンドファイル / 読み上げる」テキストの下で、選択したイベントの右側をクリックし、次に進みます。
 - サウンドファイルを追加するには、サウンドファイル (.WAV) の場所を入力するか、**【参照】**をクリックして、コンピューターに保存しているサウンドファイルを見つけます。
 - 音声を追加するには、任意のテキストを **260** 文字以内で入力します。Microsoft 社の音声合成機能は、入力したテキストを音声で読み上げます。
- 5 他のイベントにサウンドまたは音声を追加するには、手順 3 と手順 4 を繰り返します。
- 6 **【OK】**をクリックします。

ステータスマニターを表示する

- 1 ステータスマニターでは印刷ジョブやプリントデバイスの情報を表示し、確認できます。
 - ジョブタブには、それぞれの印刷ジョブの情報が表示されます。ジョブをキャンセルするには、ジョブを右クリックして**【キャンセル】**をクリックします。

- 給紙タブには、各カセットと手差しトレイの情報が表示されます。
- トナータブには、各トナーのレベルが表示されます。
- 警告タブには、「待機中」またはイベント情報が表示されます。複数のイベントがある場合、各イベントをクリックすると詳細が表示されます。

2 矢印をクリックして、詳細の表示・非表示を切り替えます。

3 オプションのリストを表示するには、ツールアイコンをクリックして、使用可能なオプションから選択します。

Command Center RX

ネットワークに接続している場合、ブラウザを開いてプリントデバイスのホームページを表示します。このオプションは USB 接続では使用できません。

通知

「ステータスマonitor通知」ダイアログボックスを開きます。

www.kyoceradocumentsolutions.com

ウェブブラウザが起動し、京セラドキュメントソリューションズ株式会社のホームページが開きます。

終了

ステータスマonitorを閉じます。

EMF スプール

エンハンスメタファイル (EMF) は、Microsoft Windows オペレーティングシステムによる印刷で使用されるスプールファイル形式です。アプリケーションから印刷ジョブが送られると、ジョブはスプールファイルに転送されます。アプリケーションがスプールファイルに書き込み中に、プリンタードライバがスプールファイルから読み取ります。複数の文書や大量の文書を印刷する場合、この機能を使用すると、プリンターがまだ文書を印刷している間でもユーザーはアプリケーションに素早く戻ることができます。



「EMF スプールを行う」は、PDL (ページ記述言語) ダイアログボックスでパススルーモードを選択した場合は使用できません。

EMF スプールを選択する

1 拡張機能タブで、[EMFスプールを行う] チェックボックスをオンにします。

2 [OK] をクリックします。

静音モード

静音モードのチェックボックスをオンにすると、通常より静かなモードで印刷できます。プリントデバイスの操作パネルでジョブごとに静音モードを許可すると、印刷時にドライバーの静音モードが有効になります。

クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする

クライアントのカスタム用紙サイズとは、クライアントコンピューターに保存されている原稿サイズ設定です。ローカルまたはサーバーのカスタムサイズのどちらかを選択できます。この機能は、クライアント/サーバ環境のクライアントコンピューター側で使います。

1 拡張機能タブで、次のいずれかを行います。

- ドライバーでローカルに設定したカスタム原稿サイズを使用するには、【クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする】チェックボックスをオンにします。
- サーバーからカスタムサイズを選択し、ドライバーで作成された印刷ジョブに適用するには、【クライアントのカスタム用紙サイズを有効にする】チェックボックスをオフにします。サーバープロファイルは読み取り専用です。

2 [OK] をクリックします。

クライアント・プロファイルを有効にする

クライアント・プロファイルとは、クライアントコンピューターに保存されているプロファイル設定です。この機能は、クライアント/サーバ環境で、クライアントコンピューターとサーバーの両方で使えます。サーバーでは、管理者はサーバーまたはクライアントプロファイルを使用するようにクライアントコンピューターのデフォルト値を設定できます。クライアントコンピューターでは、ローカルプロファイルまたはサーバープロファイルを使用できます。

1 拡張機能タブで、次のいずれかを行います。

- ドライバーからローカルでカスタムプロファイルを選択して印刷ジョブに適用するには、【クライアント・プロファイルを有効にする】チェックボックスをオンにします。
- サーバーからプロファイルを選択して印刷ジョブに適用するには、【クライアント・プロファイルを有効にする】チェックボックスをオフにします。サーバープロファイルは読み取り専用です。

2 [OK] をクリックします。

For the KYOCERA contact in your region, see Sales Sites sections here:

ご利用の地域でのお問い合わせ先については、下記リンクから京セラ本支店・営業所の一覧をご覧ください。

<https://www.kyoceradocumentsolutions.com/company/directory.html>